

2022年12月期 決算補足説明資料

株式会社アシックス
2023年2月10日



目次

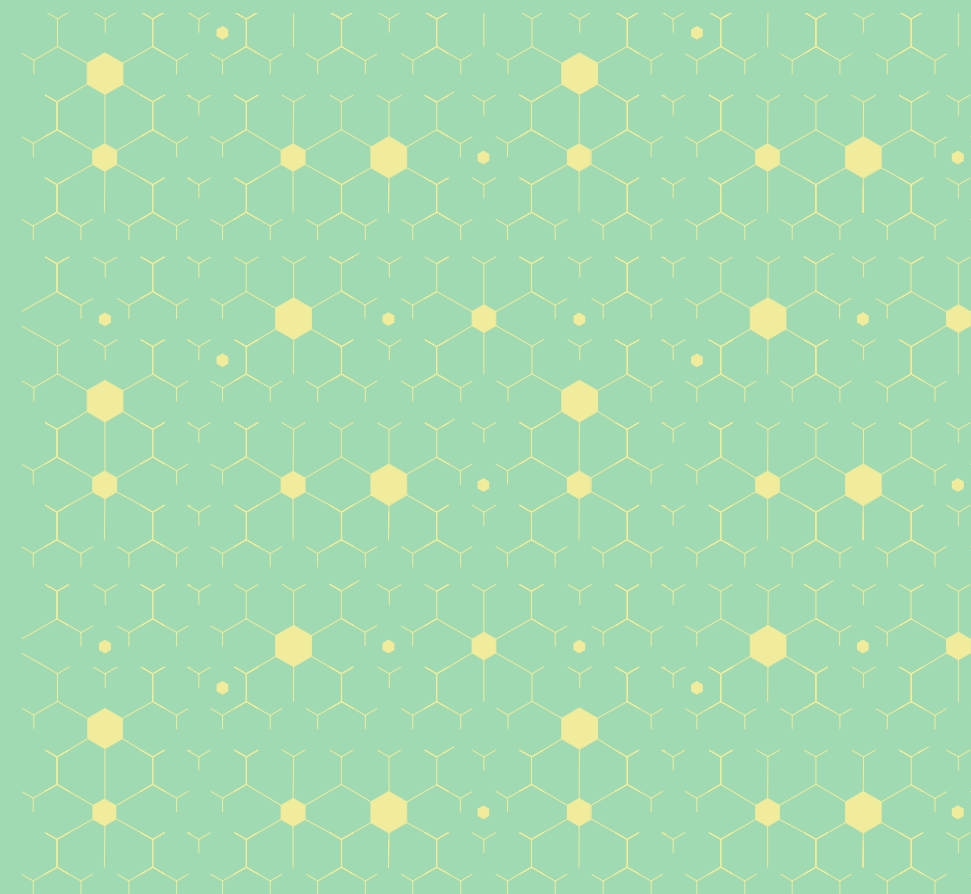
1

1. 連結業績
2. 連結経営成績（カテゴリー別）
3. 連結経営成績（地域別）
4. 連結財政状態
5. 連結業績予想
6. その他

DISCLAIMER

将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しの上に全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。



2022年12月期 連結決算ポイント

2

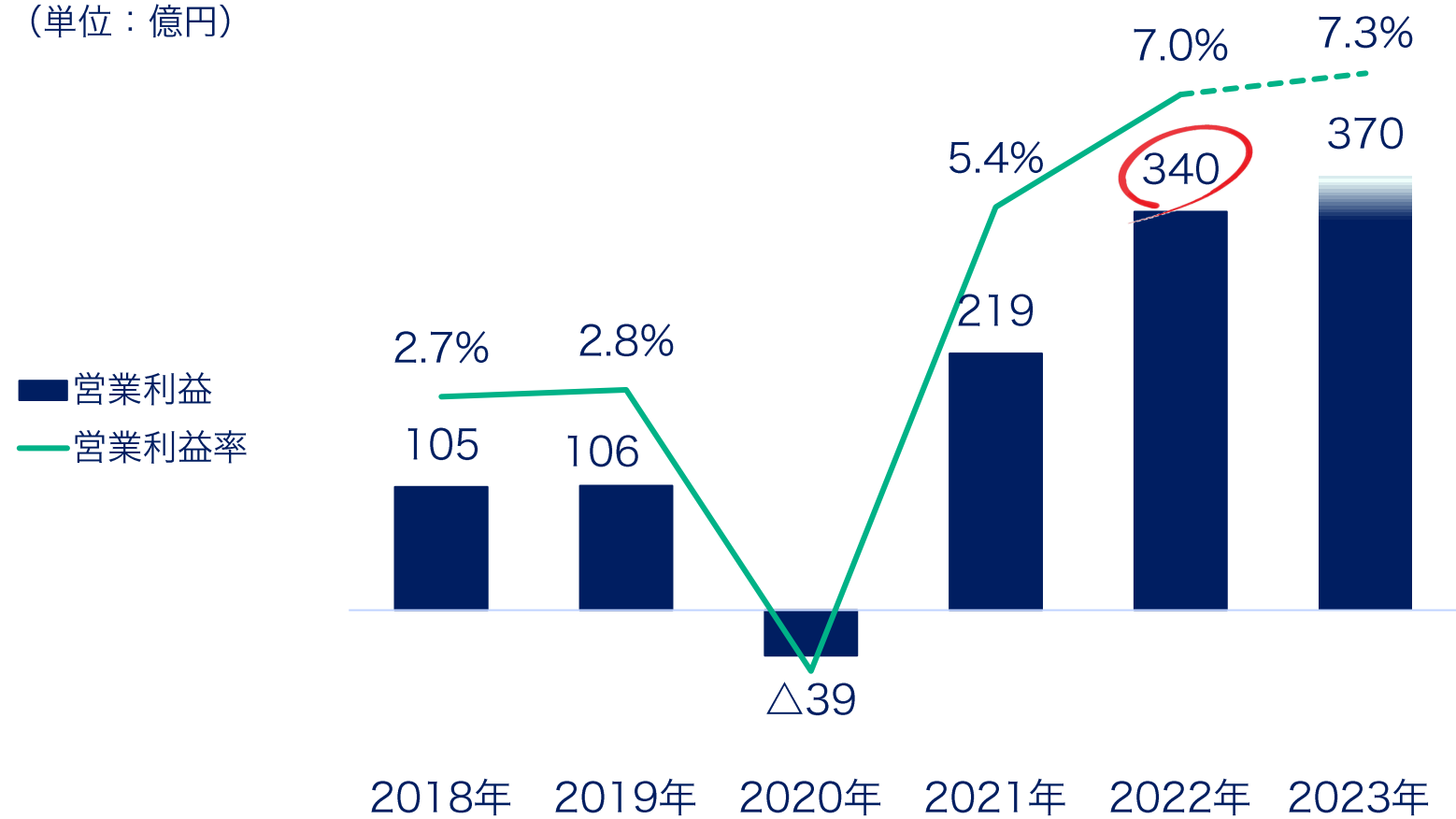
- ✓ 中期経営計画2023（営業利益250億円、営業利益率6.0%以上）を1年前倒し達成.
- ✓ 売上高（前期：4,040億円→当期：4,846億円）は全地域で2桁成長し、過去最高を記録。前期比で+19.9%、為替影響を除いても+9.6%の成長。期初計画比大幅に過達。なお、年間を通して行動規制影響があった中華圏においても前期比+18.7%の成長.
- ✓ 粗利率は、主に仕入為替の悪化や米欧での物流費の高騰にもかかわらず、チャネルミックスの良化や販売価格の適正化に努め、前年を上回って着地.
- ✓ 営業利益は過去最高の340億円となり、前期比+54.9%の増益。期初計画も大幅に超過。なお、当期純利益（198億円）は、前期比2倍超の大幅増益.
- ✓ パフォーマンスランニングの売上高は、全ての地域で増収となり前期比+24.0%。コアパフォーマンススポーツの売上高は、テニスにおけるシェアNo.1となった北米、欧州等が牽引し、前期比+31.0%。また、オニツカタイガーの売上高は、行動規制影響があった中華圏では減収も、インバウンド売上が回復傾向にある日本では+35.8%、東南・南アジアでは2倍超に伸長し、カテゴリーとしては11.6%プラス.
- ✓ EC売上高は863億円、前期比で+35.3%となり、EC売上高構成比は17.8%と前期比で+2.0ppt。EC売上高構成比の上昇により粗利率の改善に寄与.
- ✓ 売上高・営業利益ともに過去最高を記録し、さらに中期経営計画を前倒し達成したことから当初16.0円と見込んでいた1株当たり期末配当を24.0円に増配。この結果、2022年12月期の剰余金の配当については1株当たり40.0円（うち中間配当金16.0円）と過去最高に.



連結売上高・営業利益推移

- ✓ 中期経営計画2023を前倒し達成. 2022年の連結売上高および連結営業利益は過去最高を記録.
- ✓ 連結の収益性は、カテゴリー制の導入を決めた2018年から大幅に改善.
- ✓ 資本市場の評価もあり、買収防衛策の廃止を決定.

(単位：億円)



| | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 売上高 | 3,866 | 3,780 | 3,287 | 4,040 | 4,846 | 5,100 |

< 中期経営計画2023（2021年2月12日発表） >

| | 財務目標 | 2022年実績 |
|-------|--------|---------|
| 営業利益 | 250億円 | 340億円 |
| 営業利益率 | 6.0%以上 | 7.0% |
| ROA | 4.0%以上 | 5.2% |

デジタル・サービスにおける取組み

- ✓ 欧州においてnjuko社を買収。2023年には、1,200万件以上の登録が期待され、世界No.1のレース登録サービスへ。
- ✓ 日本では、Runmetrixを活用したレースレポート提供サービスや、サブ4（4時間未満での完走）のためのシューズであるS4販売開始に合わせたアールビーズ社とのレースイベント開催を発表。

<中期経営計画の前倒し達成>

| | FY20Q4 | FY21Q4 | FY22Q4 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| OneASICS 会員数 | 390 万人 | 540 万人 | 730 万人 |
| EC売上高 | 517 億円 | 638 億円 | 863 億円 |

21年比
会員数：+35.2%、売上高：+35.3%

<世界No.1のレース登録企業へ>



2022年11月に欧州においてレース登録事業No.1であるnjuko社を買収しグループ化。2023年以降、欧州におけるレース登録事業を活かしたランニングエコシステム拡大を目指す。

<ASICS RaceReport>



2022年10月、Runmetrixを使用し、レース中の計測データに基づいたフォームやペースに関するアドバイスやトレーニング推奨を受けられるデジタルサービス「ASICS RACE REPORT（アシックスレースレポート）」を開始。

<アールビーズとのイベント開催>



アールビーズ社とともに、フルマラソンでのサブ4（4時間未満での完走）を目指すランナーを対象としたフルマラソンレース「Challenge 4（チャレンジ 4）」を東京・大阪で開催。ランナーに寄り添い、シューズとともに、レースおよびトレーニングプログラムも展開。

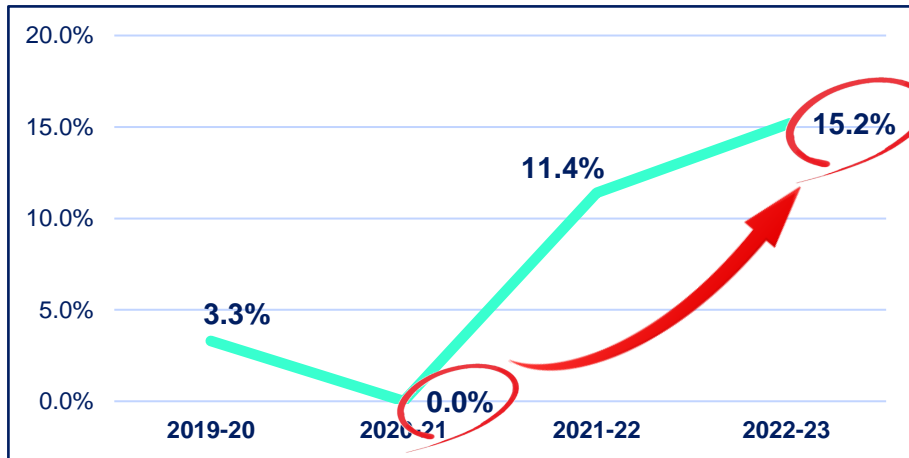


駅伝シェア

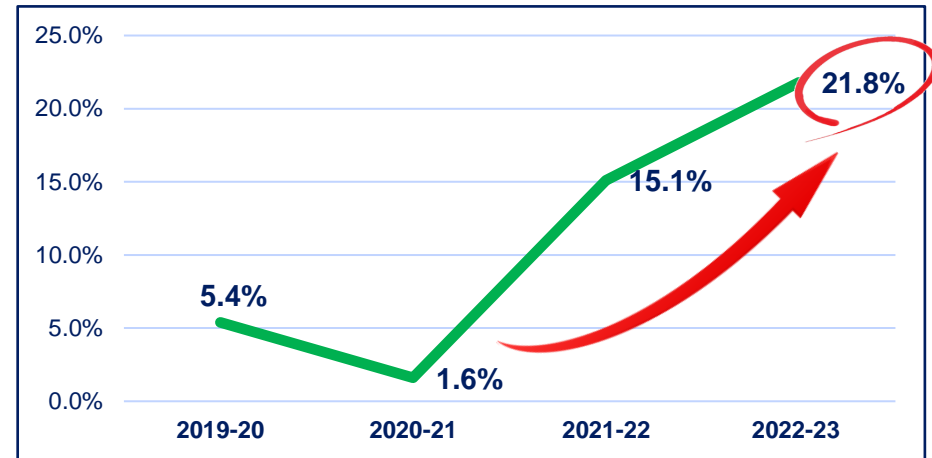
5

- ✓ METASPEEDシリーズの躍進によりシェアは向上.
- ✓ 社長直轄組織Cプロジェクトにより引き続き“頂上”を目指す.
- ✓ 新年の大学駅伝ではMETASPEED初となる区間賞を2つ獲得.

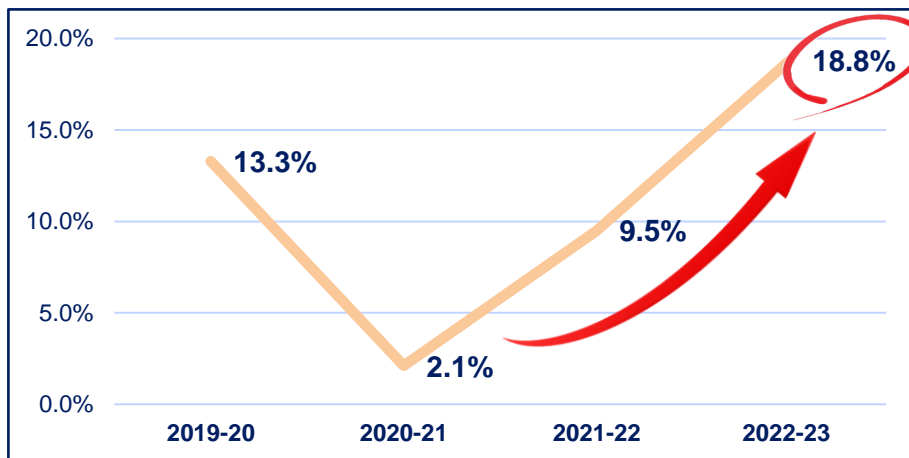
＜新年の大学駅伝＞



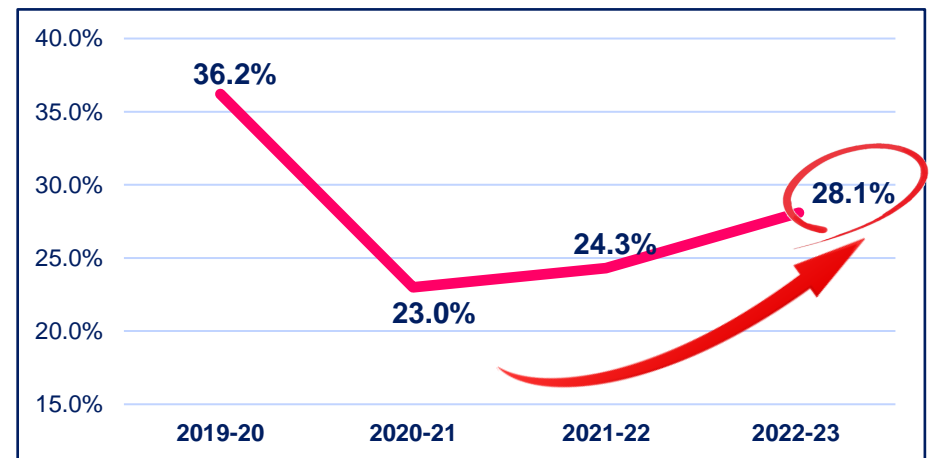
＜新年の男子実業団駅伝＞



＜年末の高校駅伝男子＞



＜年末の高校駅伝女子＞





こんなもんじゃない。

METASPEED™

パフォーマンスランニングで勝つ

- ✓ 2023年2月にS4を新たに投入し、ラインナップを更に充実.
- ✓ 従来の機能性に加えて、“感性”を重視した新たなASICSの設計指針(ASICS DESIGN)を確立.
- ✓ ASICS DESIGNを基にした最初のシューズGEL-NIMBUS25を23年上半期の目玉として投入.
- ✓ 成長ドライバーであるBOUNCEモデルを新たな商品の軸とするため、若者を中心とした更なる売上拡大に注力.




2023年12月期 連結業績予想

| (単位：億円) | 2022年 実績 | 2023年 予想 | 増減率 | 為替影響を除く 増減率 |
|---------------------|-------------|-------------|---------|----------------|
| 売上高 | 4,846 | 5,100 | +5.2% | +8.0% |
| 営業利益 | 340 | 370 | +8.8% | +11.4% |
| 営業利益率 | 7.0% | 7.3% | +0.3ppt | - |
| 経常利益 | 309 | 320 | +3.5% | +5.8% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 198 | 200 | +0.6% | +2.7% |

| 配当金 | 中間 | 期末 | 通期 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 2022年12月期 | 16.0円 | 24.0円 | 40.0円 |
| 2023年12月期 | 22.0円 | 22.0円 | 44.0円 |

| 為替レート | USD | EUR | RMB |
|-----------|---------|---------|--------|
| 2022年12月期 | 130.54円 | 137.76円 | 19.38円 |
| 2023年12月期 | 125.00円 | 132.00円 | 19.00円 |

- ✓ 2023年12月期も、引き続き好調が見込まれるパフォーマンスランニングに加え、コアパフォーマンススポーツやスポーツスタイルでも成長を織込み、売上高、営業利益の最高値更新の見通し。
 - ✓ 地域別では、中華圏、オセアニア、東南・南アジアを中心として伸長を見込む。
 - ✓ 剰余金の配当については、年間44円とし、過去最高となる見通し。
- 

基本方針

- ✓ 株主の皆様に対する利益還元は経営上の最重要課題のひとつ.
- ✓ 中期経営計画2023において設定した「中期経営計画期間内の連結総還元性向50%以上」の達成.

2022年12月期および2023年12月期の対応

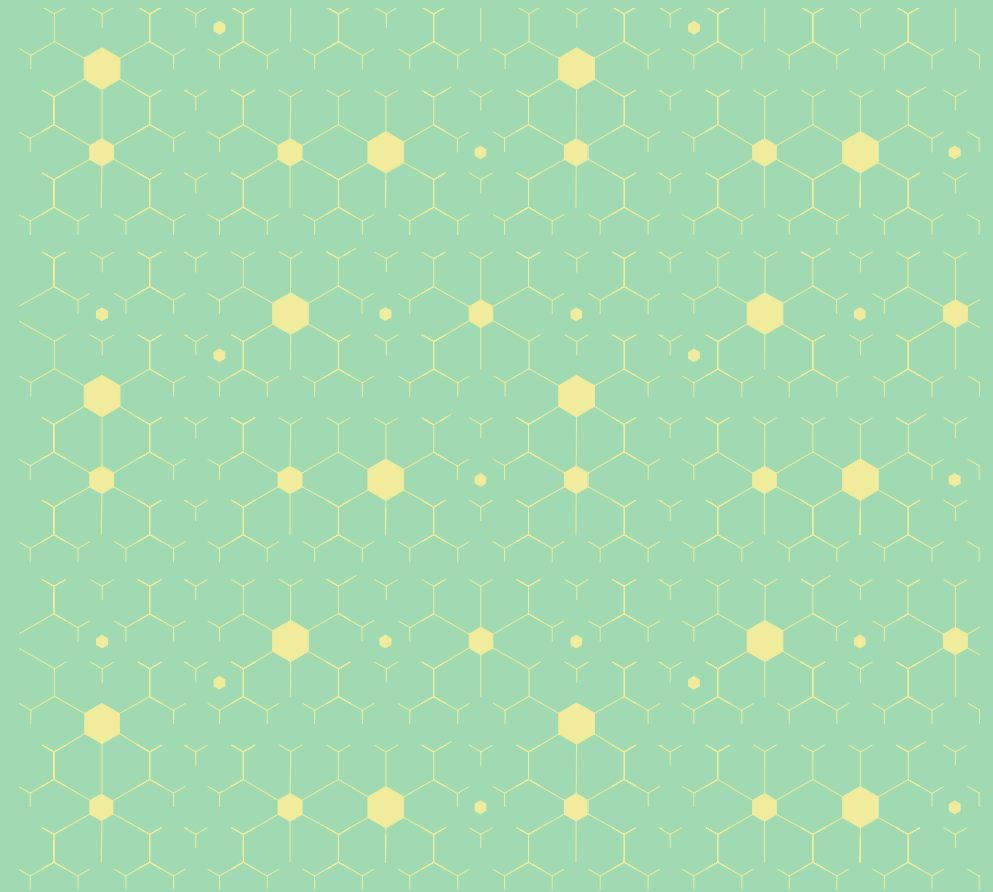
- ✓ 売上高・営業利益ともに過去最高を記録し、さらに中期経営計画を前倒し達成したことから当初16.0円と見込んでいた1株当たり期末配当を24.0円に増配.
- ✓ この結果、2022年12月期の剰余金の配当は、1株当たり40.0円（うち中間配当金16.0円）と過去最高に.
- ✓ 2023年12月期の剰余金の配当については1株当たり44.0円（うち中間配当金22.0円）とし、過去最高配当額の更新を見込む.
- ✓ また、2023年12月期においては、「中期経営計画期間内の連結総還元性向50%以上」の達成に向け、必要に応じて機動的な株主還元策の実施を検討.



1. 2022年12月期 連結業績

10

- ✓ 2022年12月期 概要
- ✓ 連結決算ハイライト
- ✓ 販管費の状況



売上高

前期比：+806億円 +19.9%（為替影響除く増減 +389億円 +9.6%）

- ◆ 売上高（前期：4,040億円→当期：4,846億円）は全地域で2桁成長し、過去最高を記録。前期比で+19.9%、為替影響を除いても+9.6%の成長。期初計画比大幅に過達。なお、年間を通して行動規制影響があった中華圏においても前期比+18.7%の成長。
- ✓ パフォーマンスランニングは、全ての地域で増収となり前期比+24.0%。コアパフォーマンススポーツは、テニスにおけるシェアNo.1となった北米、欧州等が牽引し、前期比+31.0%。また、オニツカタイガーは、行動規制影響があった中華圏では減収も、インバウンド売上が回復傾向にある日本では+35.8%、東南・南アジアでは2倍超に伸長し、カテゴリーとしては11.6%プラス。
- ✓ ECは863億円、前期比で+35.3%となり、EC売上高構成比は17.8%と前期比で+2.0ppt。EC売上高構成比の上昇により粗利率の改善に寄与。

営業利益

前期比：+121億円 +54.9%（為替影響除く増減 +94億円 +43.1%）

- ◆ 営業利益は過去最高の340億円となり、前期比+54.9%の増益。期初計画も大幅に超過。
- ✓ 粗利率は、主に仕入為替の悪化や米欧での物流費の高騰にもかかわらず、チャネルミックスの良化や販売価格の適正化に努め、前年を上回って着地。

当期純利益

前期比：+104億円 +111.5%（為替影響除く増減 +79億円 +84.6%）

- ◆ 当期純利益（198億円）は、前期比2倍超の増益。



連結決算ハイライト

12

(単位：億円)

| 年間業績 (1-12月) | FY21 実績 | FY22 実績 | 前期比 上段：増減額 下段：増減率 |
|---------------------|------------|--------------|-------------------------|
| 売上高 | 4,040 | 4,846 | +806 +19.9% |
| 売上総利益 | 1,998 | 2,407 | +409 +20.4% |
| 売上総利益率 | 49.5% | 49.7% | +0.2ppt |
| 販管費 | 1,779 | 2,067 | +288 +16.2% |
| 販管費率 | 44.1% | 42.7% | △1.4ppt |
| 人件費 | 584 | 672 | +88 +14.9% |
| 広告宣伝費 | 315 | 339 | +24 +7.6% |
| 広告宣伝費率 | 7.8% | 7.0% | △0.8ppt |
| 賃借料 | 114 | 115 | +1 +0.8% |
| 減価償却費 | 132 | 154 | +22 +17.4% |
| その他経費 | 634 | 787 | +153 +24.1% |
| 営業利益 | 219 | 340 | +121 +54.9% |
| 営業利益率 | 5.4% | 7.0% | +1.6ppt |
| 経常利益 | 221 | 309 | +88 +39.5% |
| 特別損益 | △80 | △22 | +58 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 94 | 198 | +104 +111.5% |

| | FY21 実績 | FY22 実績 | 増減額 | 増減率 |
|--------|------------|------------|------|---------|
| 海外売上高 | 3,181 | 3,961 | +780 | +24.5% |
| 海外比率 | 78.7% | 81.8% | - | +3.1ppt |
| 為替影響除く | 連結売上高増減 | | +389 | +9.6% |
| | 連結営業利益増減 | | +94 | +43.1% |
| | 連結純利益増減 | | +79 | +84.6% |

< 参考：平均為替レート(円) >

| 年間 (1~12月) | FY21 実績 | FY22 実績 |
|------------|------------|------------|
| 1ドル | 109.78 | 130.54 |
| 1ユーロ | 130.06 | 137.76 |
| 1人民元 | 17.03 | 19.38 |



連結決算ハイライト（3ヶ月期間）

13

(単位：億円)

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 Q4 実績 | FY22 Q4 実績 | 前年同期比 上段：増減額 下段：増減率 |
|---------------------|---------------|---------------|---------------------------|
| 売上高 | 818 | 1,216 | +398 +48.4% |
| 売上総利益 | 386 | 592 | +206 +53.4% |
| 売上総利益率 | 47.1% | 48.7% | +1.6ppt |
| 販管費 | 524 | 612 | +88 +16.8% |
| 販管费率 | 64.0% | 50.4% | △13.6ppt |
| 人件費 | 161 | 181 | +20 +12.0% |
| 広告宣伝費 | 108 | 116 | +8 +7.7% |
| 広告宣伝费率 | 13.2% | 9.6% | △3.6ppt |
| 賃借料 | 27 | 24 | △3 △10.3% |
| 減価償却費 | 37 | 42 | +5 +15.7% |
| その他経費 | 191 | 249 | +58 +30.4% |
| 営業利益 | △138 | △20 | +118 - |
| 営業利益率 | △16.9% | △1.7% | +15.2ppt |
| 経常利益 | △135 | △33 | +102 - |
| 特別損益 | △15 | △16 | △1 - |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | △96 | △34 | +62 - |

| | FY21 Q4 実績 | FY22 Q4 実績 | 増減額 | 増減率 |
|-------|---------------|---------------|------|---------|
| 海外売上高 | 652 | 960 | +308 | +47.2% |
| 海外比率 | 79.7% | 79.0% | - | △0.7ppt |

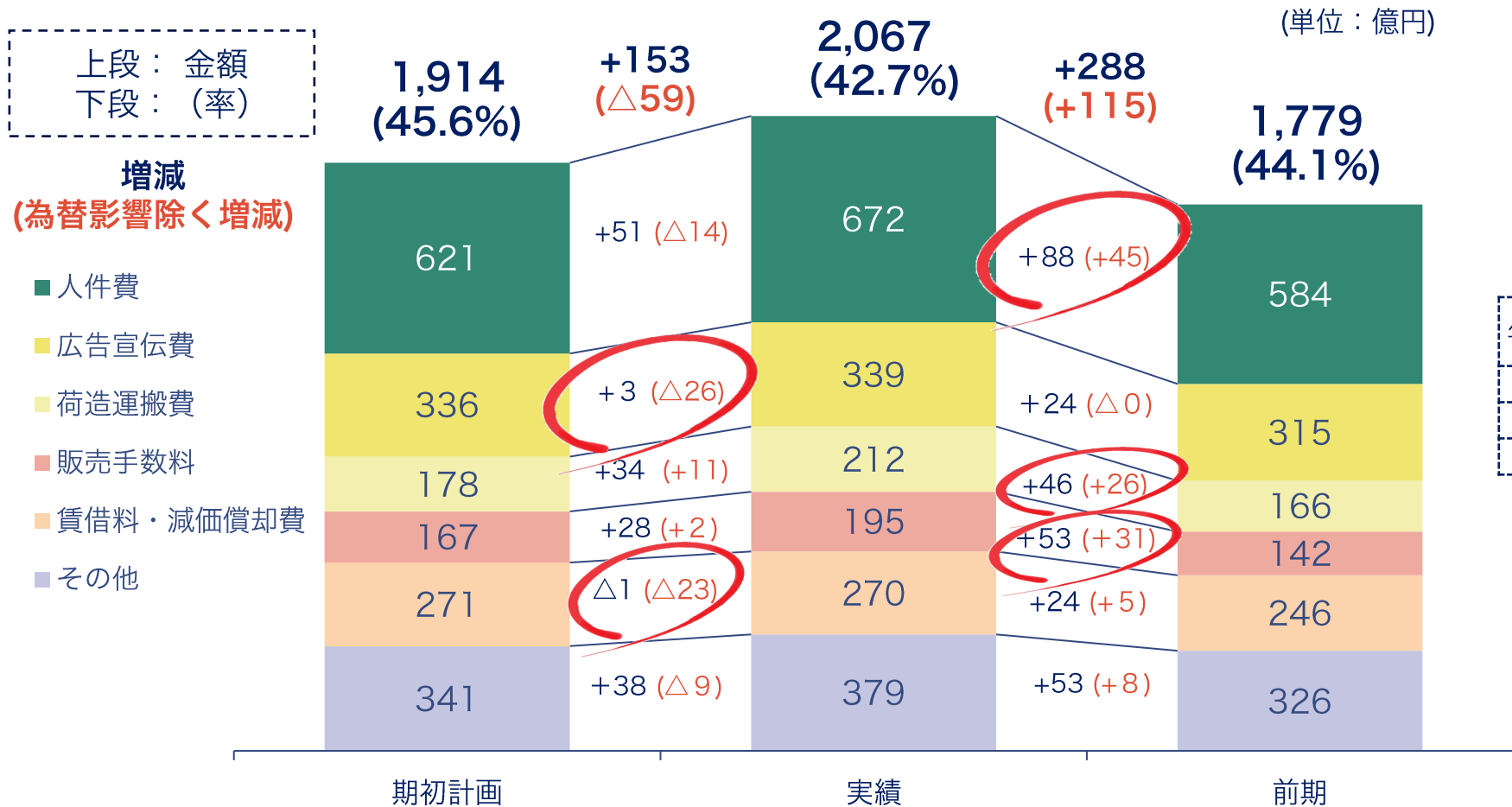
| | | | |
|--------|----------|------|--------|
| 為替影響除く | 連結売上高増減 | +278 | +34.0% |
| | 連結営業利益増減 | +119 | - |
| | 連結純利益増減 | +67 | - |

| 四半期推移 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 1,053 | 1,197 | 1,380 | 1,216 |
| 営業利益 | 101 | 91 | 169 | △20 |
| 営業利益率 | 9.5% | 7.6% | 12.2% | △1.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 87 | 48 | 97 | △34 |



販管費の状況

- ✓ 期初計画比は153億円増加も為替影響を除くと59億円の減少.
- ✓ 前期比は288億円増加、但し為替影響を除くと115億円の増加. 為替影響を除く主な増加要因は、直営事業の正常化やデジタル関連投資等による人件費、リテールやECの売上高増加に連動した販売手数料や荷造運搬費.



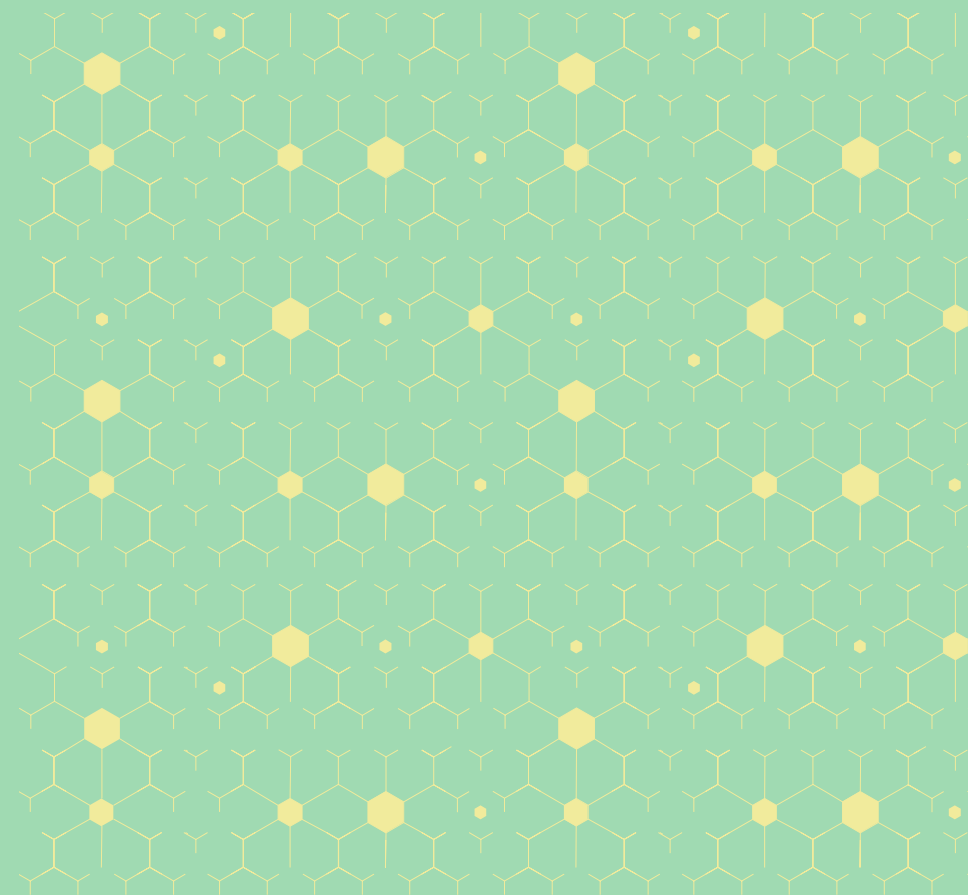
<参考：平均為替レート(円)>

| 年間(1~12月) | FY22 期初計画 | FY22 実績 | FY21 実績 |
|-----------|--------------|------------|------------|
| 1ドル | 105.00 | 130.54 | 109.78 |
| 1ユーロ | 125.00 | 137.76 | 130.06 |
| 1人民元 | 17.00 | 19.38 | 17.03 |

2. 2022年12月期 連結経営成績（カテゴリー別）

15

- ✓ カテゴリー別連結売上高
- ✓ カテゴリー別業績

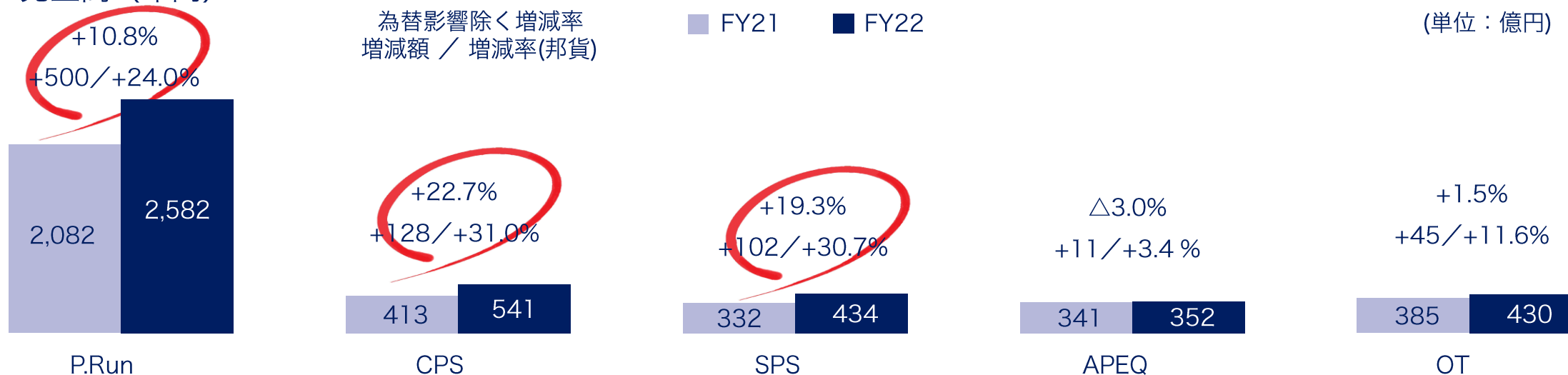


カテゴリー別連結売上高

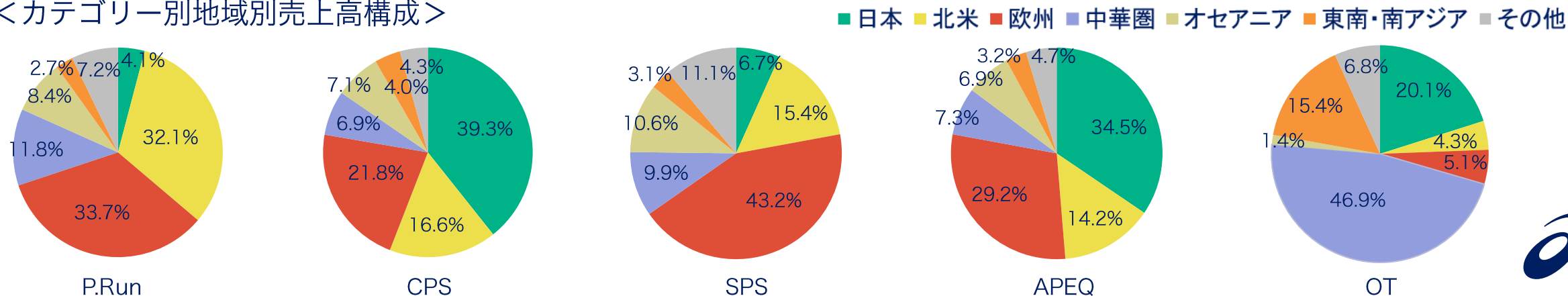
16

- ✓ 全カテゴリーで増収となり、特にP.Run、CPS、SPS、OTは前期比2桁超増収。
- ✓ 第4四半期3ヶ月期間は、連結で+48.4%。特にP.Run、CPS、SPSが大幅に増収。

<売上高（年間）>



<カテゴリー別地域別売上高構成>



※一時的イベントにおける影響を除いた数値を表記しております。



カテゴリー利益等一覧（前期比）

17

- ✓ 売上高は、全カテゴリーで増収。
- ✓ カテゴリー外コストは、為替影響や人件費の増加等により前期比プラスとなるもコストオーナー制の下、売上高成長率の範囲内でコントロール。

（単位：億円）

| | P.Run | CPS | SPS | APEQ | OT | Others | TTL |
|-----------|-----------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 売上高 | 2,582 (+500) | 541 (+128) | 434 (+102) | 352 (+11) | 430 (+45) | 507 (+20) | 4,846 (+806) |
| カテゴリー利益 | 491 (+65) | 94 (+44) | 64 (+21) | △16 (△15) | 73 (+24) | | |
| カテゴリー外コスト | | | | | | | 363 (+58) |
| 連結営業利益 | | | | | | | 340 (+121) |

（ ）内は前期比



パフォーマンスランニング (P.RUN)



METASPEED
SKY+



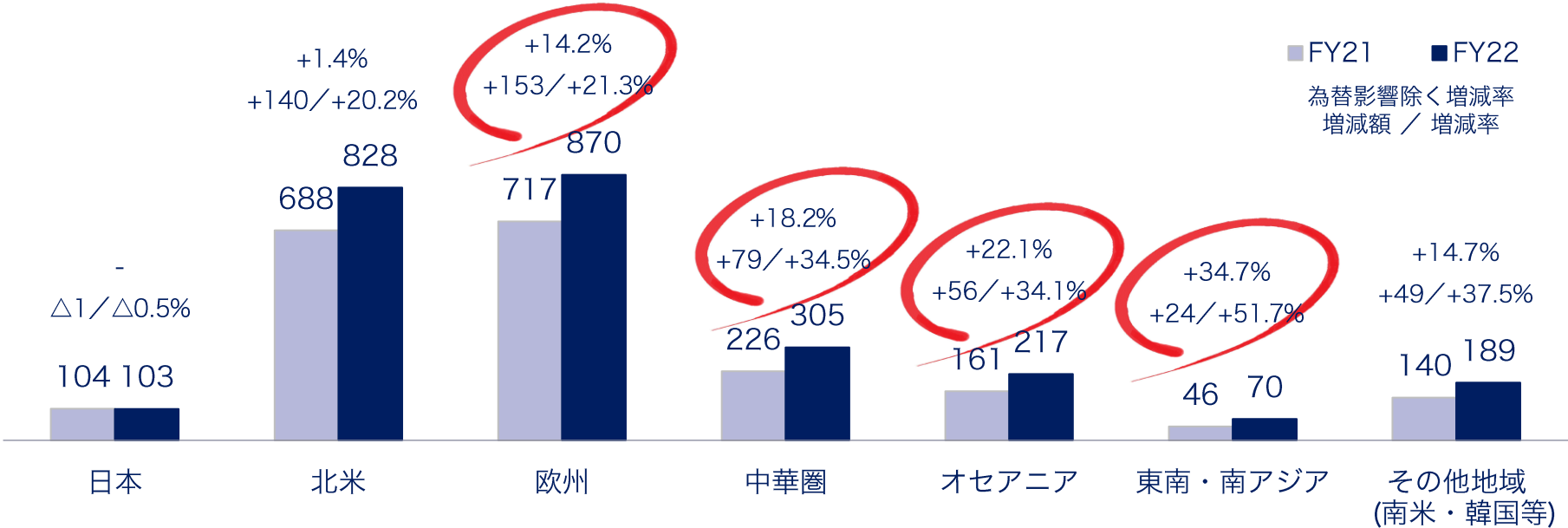
GEL-NIMBUS 25

| 年間業績 (1-12月) | FY21 | FY22 | 前期比 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------|-------|------------|---------|
| 売上高 | 2,082 | 2,582 | +500 | +24.0% |
| 為替影響除く増減 | | 2,306 | +224 | +10.8% |
| カテゴリー利益 | 426 | 491 | +65 | +15.4% |
| カテゴリー利益率 | 20.5% | 19.0% | - | △1.5ppt |

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 | FY22 | 前年同期比 増減額 | 増減率 |
|-------------------|------|------|--------------|---------|
| 売上高 | 408 | 610 | +202 | +49.5% |
| 為替影響除く増減 | | 531 | +123 | +30.1% |
| カテゴリー利益 | 26 | 52 | +26 | +100.0% |
| カテゴリー利益率 | 6.4% | 8.5% | - | +2.1ppt |

- ポイント
- ◆ 売上高は、前期比増収となり、期初計画も超過。
欧州をはじめ、北米、中華圏、オセアニア等で20%超の成長。
東南・南アジアは50%超の高成長。
 - ◆ 第4四半期3ヶ月期間は約50%の売上高成長。中華圏でも約35%成長。
 - ◆ 物流費等の製造関連コスト大幅上昇により、粗利率は47.9%(前期比△0.4ppt)。今後、高粗利率商品への注力や販売価格の適正化等により、粗利率の上昇を図る。
 - ◆ カテゴリー利益は、前期比、期初計画比共に超過。
 - ◆ 商品力強化・マーケティング投資拡大により、マラソン・駅伝でのシェア拡大に向けた攻勢を継続。

売上高(年間)



コアパフォーマンススポーツ (CPS)



サッカー日本代表
富安選手着用モデル
DS LIGHT X-FLY PRO

19

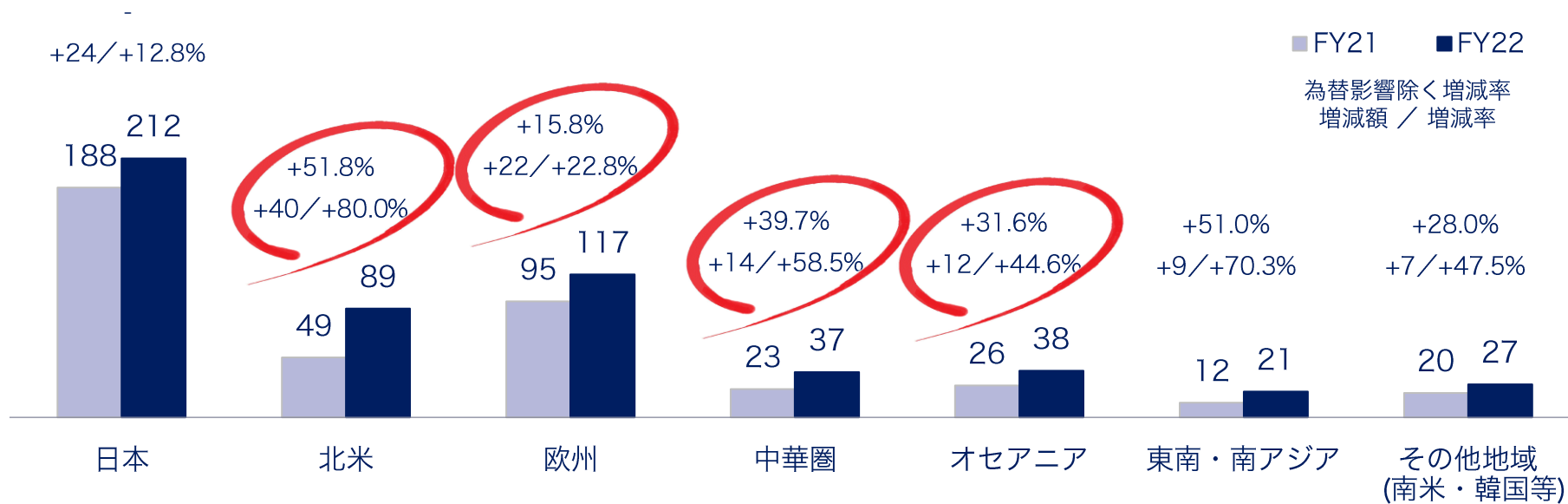
| 年間業績 (1-12月) | FY21 | FY22 | 前期比 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------|-------|------------|---------|
| 売上高 | 413 | 541 | +128 | +31.0% |
| 為替影響除く増減 | | 506 | +93 | +22.7% |
| カテゴリー利益 | 50 | 94 | +44 | +88.7% |
| カテゴリー利益率 | 12.2% | 17.5% | - | +5.3ppt |

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 | FY22 | 前年同期比 増減額 | 増減率 |
|-------------------|--------|------|--------------|----------|
| 売上高 | 61 | 132 | +71 | +116.4% |
| 為替影響除く増減 | | 121 | +60 | +98.4% |
| カテゴリー利益 | △16 | 12 | +28 | - |
| カテゴリー利益率 | △26.2% | 9.1% | - | +35.3ppt |

ポイント

- ◆ 売上高は、前期比増収となり、期初計画も超過。特に北米で+80.0%など、全ての地域で増加。
- ◆ 第4四半期3ヶ月期間は、売上高・カテゴリー利益共に大幅な増収増益。
- ◆ 粗利率は、物流費等の高騰などにより44.9%(前期比△0.5ppt)
- ◆ カテゴリー利益は、前期比、期初計画比共に大幅超過。
- ◆ 北米で2022年にシェアNo.1となったテニスや米欧で好調なインドア、日本を中心としたワーキングに注力し、シェア拡大を図る。
- ◆ 契約選手や主要国際大会と連動したマーケティング活動や商品訴求を継続的に実施していく。

売上高(年間)



スポーツスタイル (SPS)



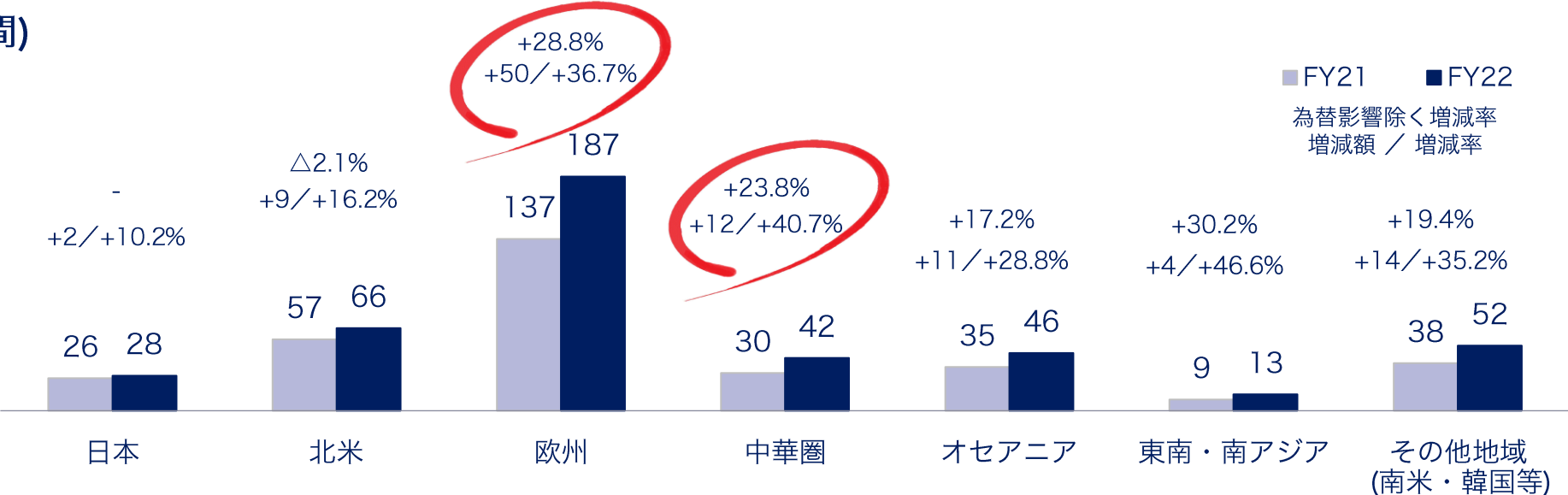
EX89
1989年発売のベースモデル
GEL-EXTREME (ゲルエクストリーム)

| 年間業績 (1-12月) | FY21 | FY22 | 前期比 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------|-------|------------|---------|
| 売上高 | 332 | 434 | +102 | +30.7% |
| 為替影響除く増減 | | 396 | +64 | +19.3% |
| カテゴリー利益 | 43 | 64 | +21 | +49.1% |
| カテゴリー利益率 | 13.0% | 14.8% | - | +1.8ppt |

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 | FY22 | 前年同期比 増減額 | 増減率 |
|-------------------|-------|------|--------------|----------|
| 売上高 | 67 | 120 | +53 | +79.1% |
| 為替影響除く増減 | | 108 | +41 | +61.2% |
| カテゴリー利益 | △4 | 11 | +15 | - |
| カテゴリー利益率 | △6.0% | 9.2% | - | +15.2ppt |

- ポイント
- ◆ 売上高は、前期比増収となり、期初計画も超過。特に欧州+36.7%や中華圏+40.7%、東南・南アジア+46.6%が大幅増収。
 - ◆ 第4四半期3ヶ月期間の売上高は、前期比+79.1%と大幅増加。
 - ◆ 粗利率は、主に米欧における物流費の高騰や北米の在庫適正化もあったが46.0%(前期比△1.2ppt)に留まる。
 - ◆ カテゴリー利益は、全ての地域で増益となり、期初計画比も超過。
 - ◆ 世界的に影響を持つライフスタイルメディアであるHYPERBEASTの2022年ベスト・フットウェア・ブランドに選定されたことを背景に、2023年はグローバルでの売上拡大やブランド価値向上を図る。

売上高(年間)



アパレル・エキップメント (APEQ)



AIM TRAINING JACKET

21

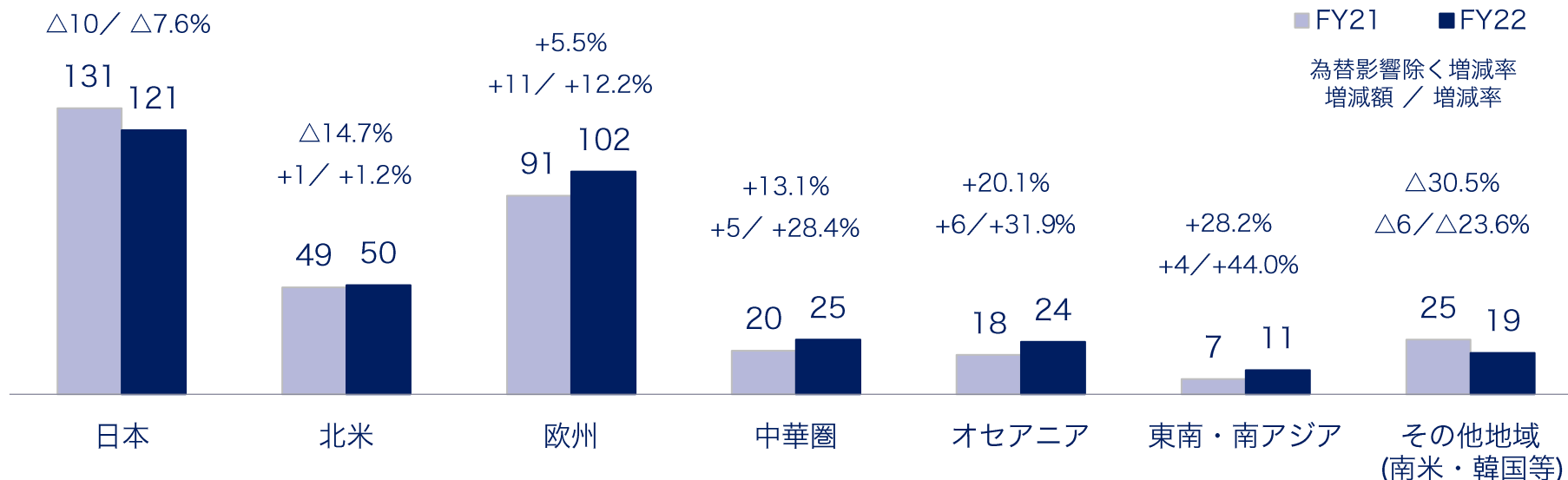
| 年間業績 (1-12月) | FY21 | FY22 | 前期比 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------|---------------|------------|---------|
| 売上高 | 341 | 352 | +11 | +3.4% |
| 為替影響除く増減 | | 331 | △10 | △3.0% |
| カテゴリー利益 | △1 | △ 16 | △15 | - |
| カテゴリー利益率 | △0.5% | △ 4.7% | - | △4.2ppt |

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 | FY22 | 前年同期比 増減額 | 増減率 |
|-------------------|-------|----------------|--------------|----------|
| 売上高 | 88 | 86 | △2 | △2.3% |
| 為替影響除く増減 | | 80 | △8 | △9.1% |
| カテゴリー利益 | △1 | △ 11 | △10 | - |
| カテゴリー利益率 | △1.1% | △ 12.8% | - | △11.7ppt |

ポイント

- ◆ 売上高は、為替影響を除くと日本と北米の減収により全体で減収。
- ◆ 第4四半期3ヶ月期間の売上高は減収。在庫適正化に向けた販売促進を実施。
- ◆ カテゴリー利益は、粗利率が改善（43.1%、前期比+1.0ppt）したものの減益。
- ◆ 中期経営計画2023最終年度としてランニング・トレーニングに経営資源を集中し、確実に黒字化を達成する。

売上高(年間)



オニツカタイガー (OT)



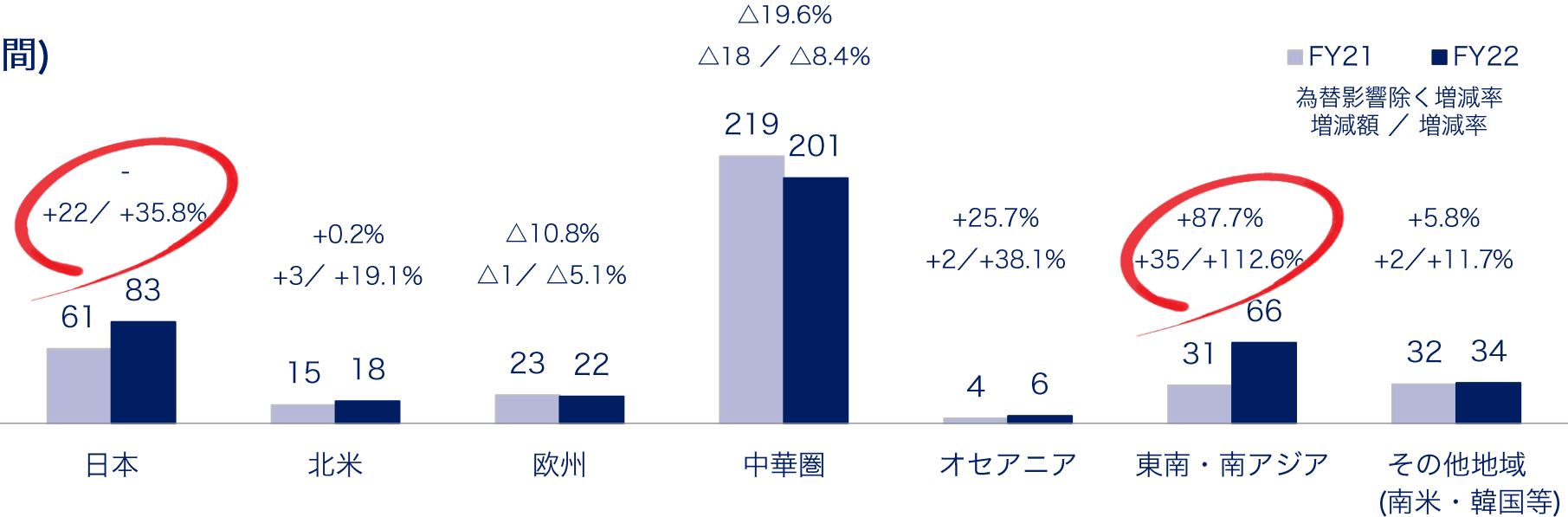
ACROMOUNT KNIT

| 年間業績 (1-12月) | FY21 | FY22 | 前期比 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------|-------|------------|---------|
| 売上高 | 385 | 430 | +45 | +11.6% |
| 為替影響除く増減 | | 390 | +5 | +1.5% |
| カテゴリー利益 | 49 | 73 | +24 | +49.1% |
| カテゴリー利益率 | 12.9% | 17.2% | - | +4.3ppt |

| 3ヶ月期間 (10-12月) | FY21 | FY22 | 前年同期比 増減額 | 増減率 |
|-------------------|-------|------|--------------|----------|
| 売上高 | 82 | 112 | +30 | +36.6% |
| 為替影響除く増減 | | 102 | +20 | +24.4% |
| カテゴリー利益 | △5 | 9 | +14 | - |
| カテゴリー利益率 | △6.1% | 8.0% | - | +14.1ppt |

- ポイント
- ◆ 売上高は、コロナ影響で苦戦した中華圏を日本および東南・南アジアで補完し増加.
 - ◆ 第4四半期3ヶ月期間の売上高は、約37%の増加、日本でのインバウンド売上が急回復（コロナ前の約80%にまで回復）.
 - ◆ カテゴリー利益は、日本および東南・南アジアでの増収に加え、DTCシェア拡大に伴う粗利率の向上（62.4%、前期比+2.9ppt）により増益.
 - ◆ ミラノファッションショーでの発表やデジタルツールを活用したマーケティング活動により、ブランド認知および価値向上に努める.

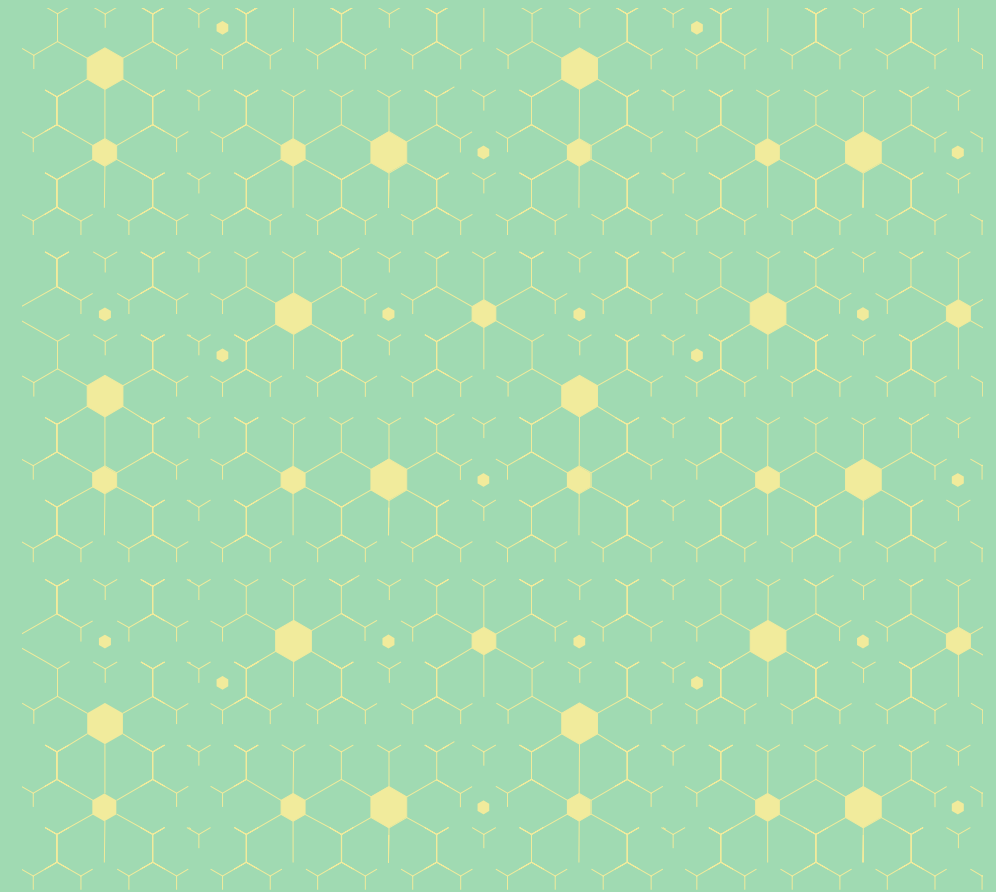
売上高(年間)



3. 2022年12月期 連結経営成績（地域別）

23

- ✓ 地域別連結売上高およびカテゴリー構成
- ✓ 連結営業利益内訳（地域別）
- ✓ チャネル別売上高
- ✓ 月別・四半期別売上高

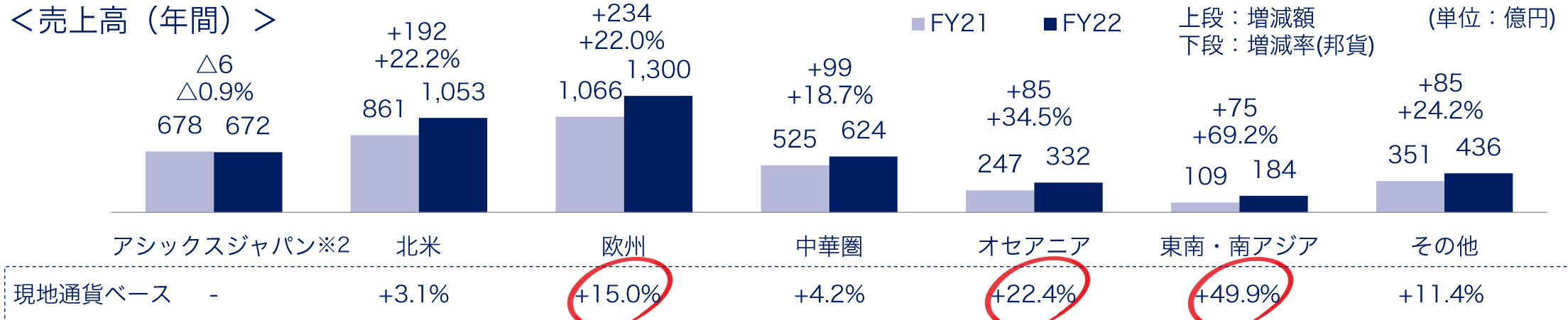


地域別連結売上高およびカテゴリー構成

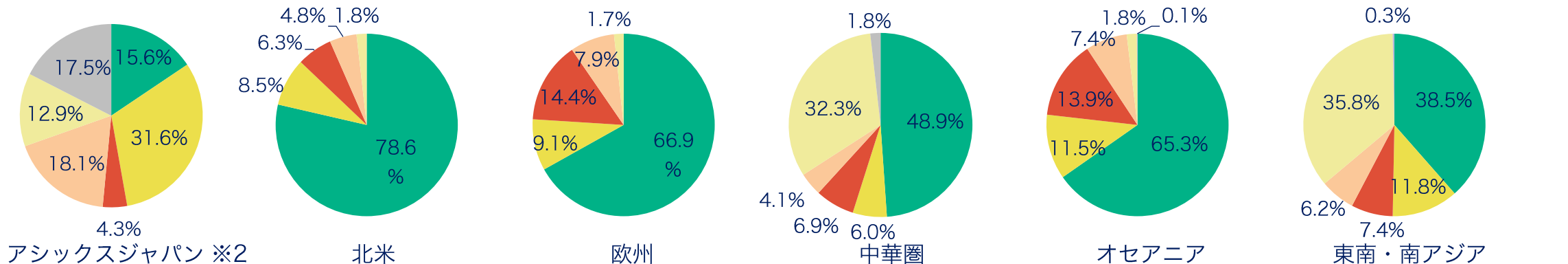
24

- ✓ 主要地域では、前期比2桁超成長の欧州に加え北米、中華圏でも前期比でプラス、前期の一時的イベントの影響を除けば日本でも増収。また、オセアニアでは20%超、東南・南アジアでは約50%の大幅成長。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大前の2019年比でも北米(+38%※1)、欧州(+36%)、中華圏(+58%)、オセアニア(+80%)等で大幅に増収。

<売上高（年間）>



<主要地域別カテゴリー別売上高構成>



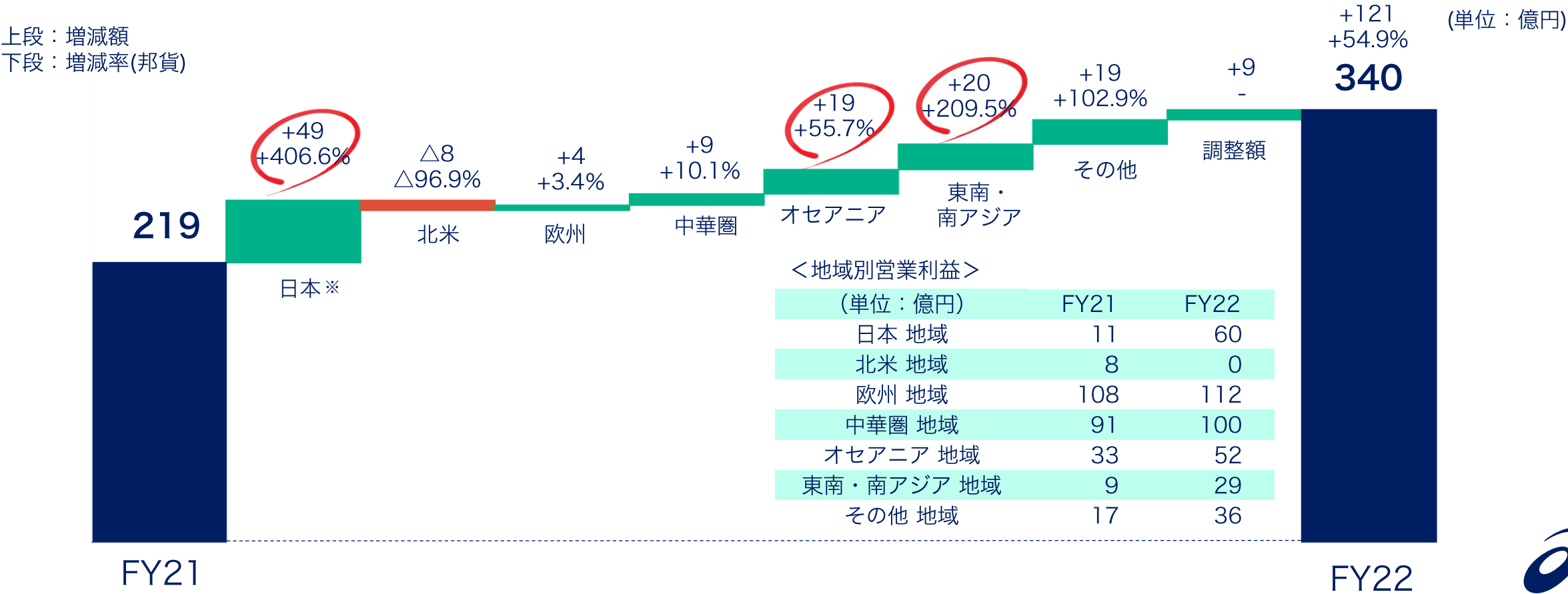
※1 グループ内売上を除く実績と比較しております。

※2 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社の売上も含まれております。よって、この決算補足説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、2022年12月期 第1四半期よりアシックスジャパンとしております。なお、日本地域における売上は、前期 1,099億円、当期 1,234億円であり、詳細につきましては決算短信に記載しております。



連結営業利益内訳（地域別）

- ✓ 日本地域では粗利率の改善や前期の一時的イベントによる影響がなくなったことにより、大幅増益。
- ✓ 中華圏は新型コロナウイルス感染拡大により厳しい状況であったが、増益を達成。初めて100億円を超過。
- ✓ 北米は物流費高騰により減益となるものの、オセアニア、東南・南アジアは順調な成長により大幅に増益。
- ✓ なお、連結では新型コロナウイルス感染拡大前の2019年(106億円)と比較しても3倍超の増益を達成。



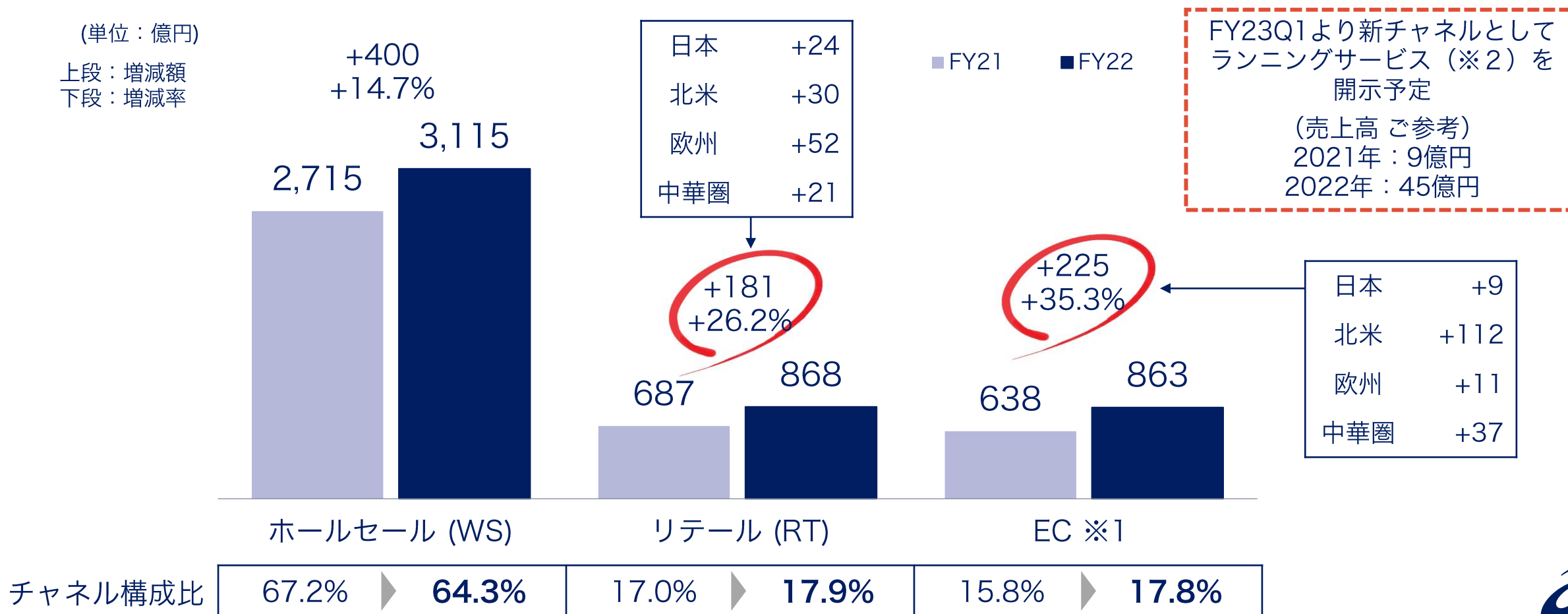
※ 日本は国内から海外（主に海外子会社）への取引を含んでおります。
※※ 2022年12月期第3四半期よりセグメント情報との整合を図るため、為替影響を含む増減へと変更しております。



チャネル別売上高

26

- ✓ ECは前期比+35.3%となり、構成比も17.8%に伸長。新型コロナウイルス感染拡大前の2019年比では3倍超に。
- ✓ リテールでは、増収もあり前期の営業赤字から黒字に転換。



※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。

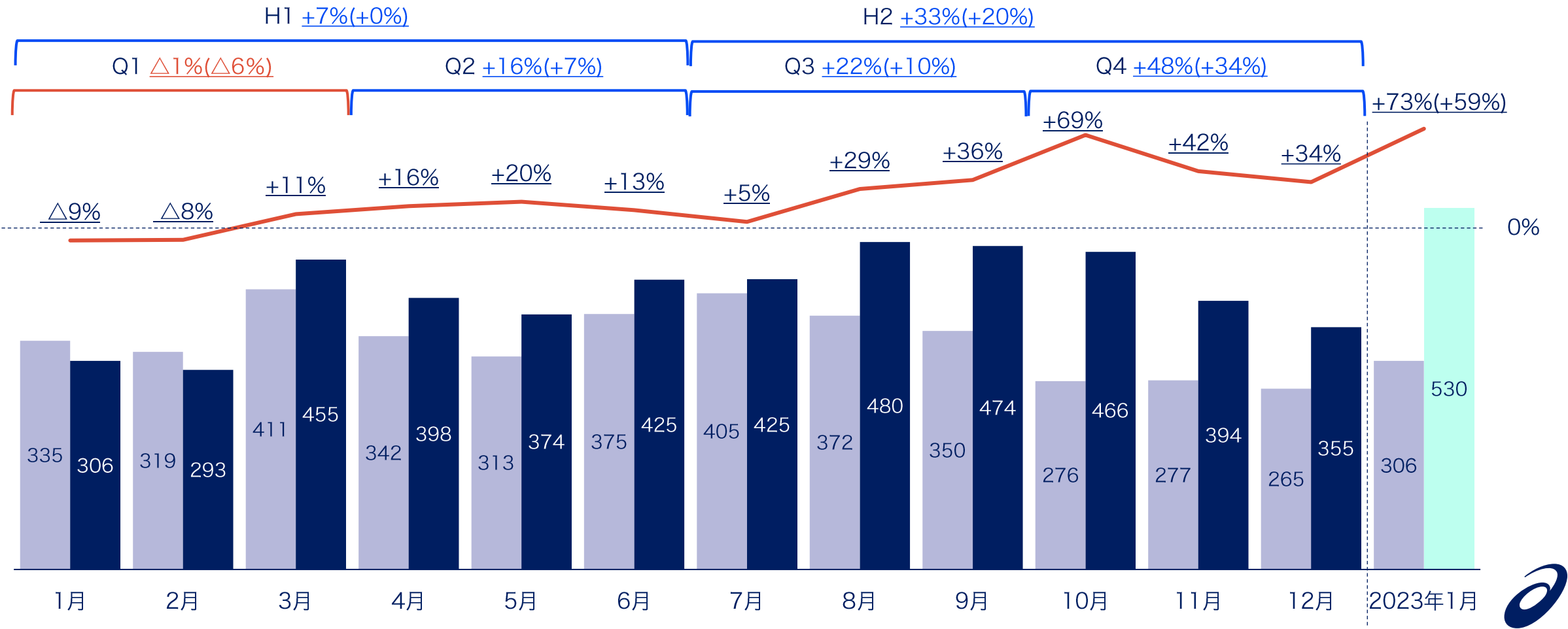
※2 レース登録や運営等のサービス事業。



連結売上高（月別・四半期別）

■ FY2022 ■ 売上速報
■ FY2021 ■ 前年同月比% (為替影響を除く増減率) (単位：億円)

- ✓ 第4四半期3ヶ月期間は各地域で好調に推移した事に加え、前年は生産影響で売上が低かったこともあり、前年同期比+48%。為替を除いても+34%の成長。
- ✓ 2023年1月売上は530億円となり前年同月比+73%。コロナ前の2019年比でも+66%と大幅成長。



※ 2023年1月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。



主要4地域の売上高（月別・四半期別）

■ FY2022
■ FY2021

■ 売上速報

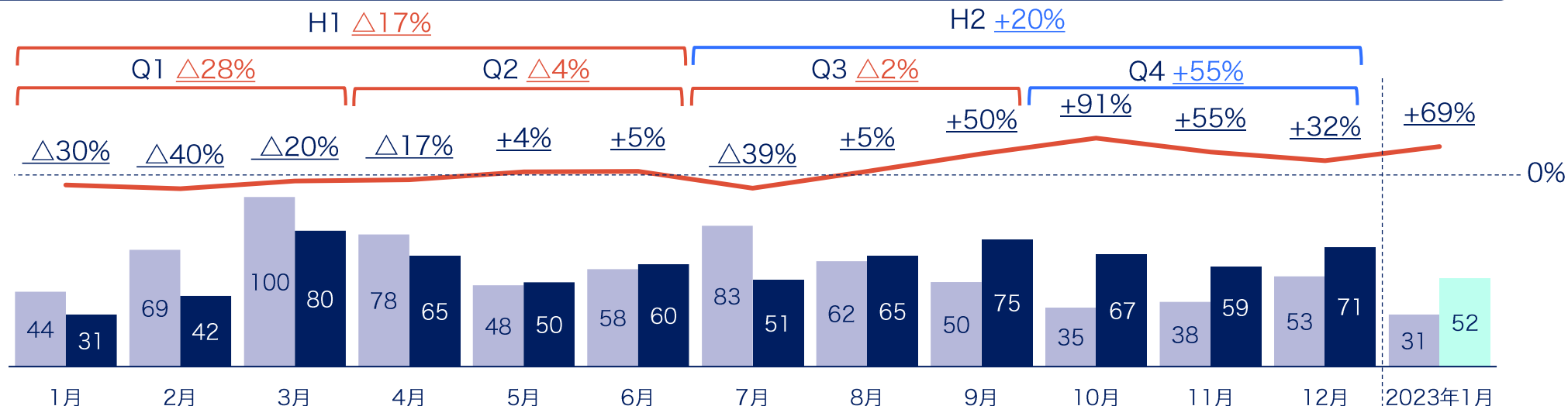
— 前年同月比%(為替影響除く増減率)

(単位：億円)

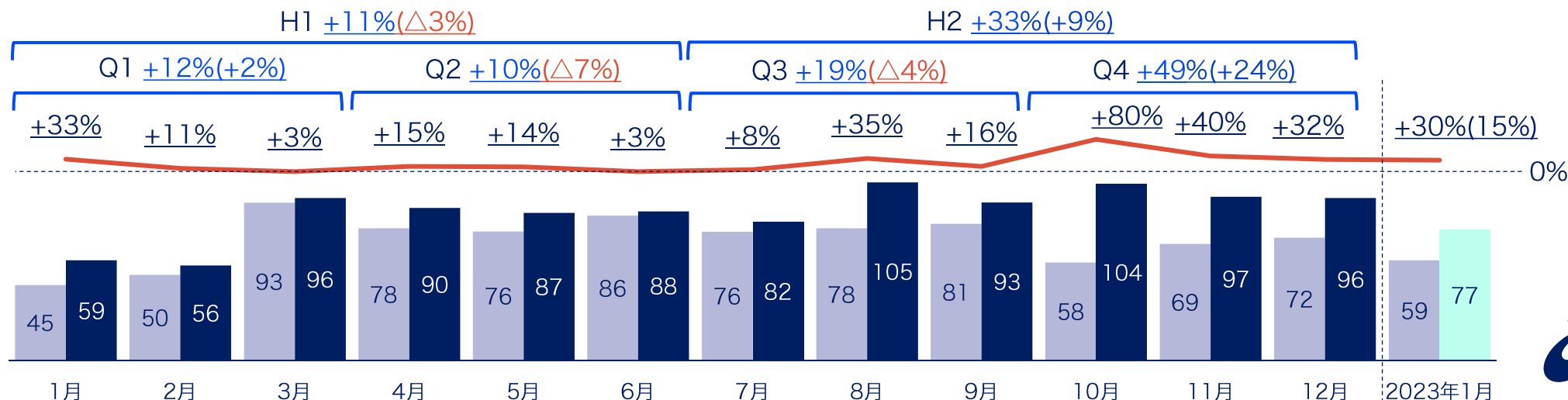
28

- ✓ 日本：第4四半期3ヶ月期間は前年の生産影響もあり+55%. 2023年1月単月も+69%.
- ✓ 北米：米国国内での物流の混乱が続いたが、第4四半期3ヶ月期間は+49%. 現地通貨ベースでも+24%. 2023年1月も好調なスタート.

日本 ※1



北米



※1 アシックス商事を除く、日本地域の売上高となります。

※2 2023年1月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。



主要4地域の売上高（月別・四半期別）

■ FY2022

■ FY2021

■ 売上速報

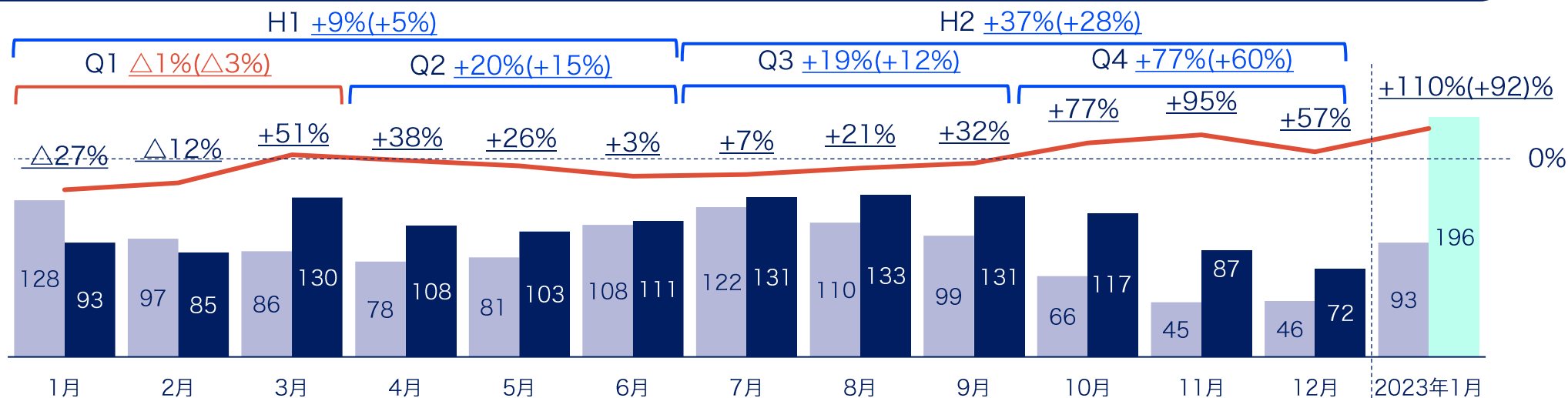
— 前年同月比%(為替影響除く増減率)

(単位：億円)

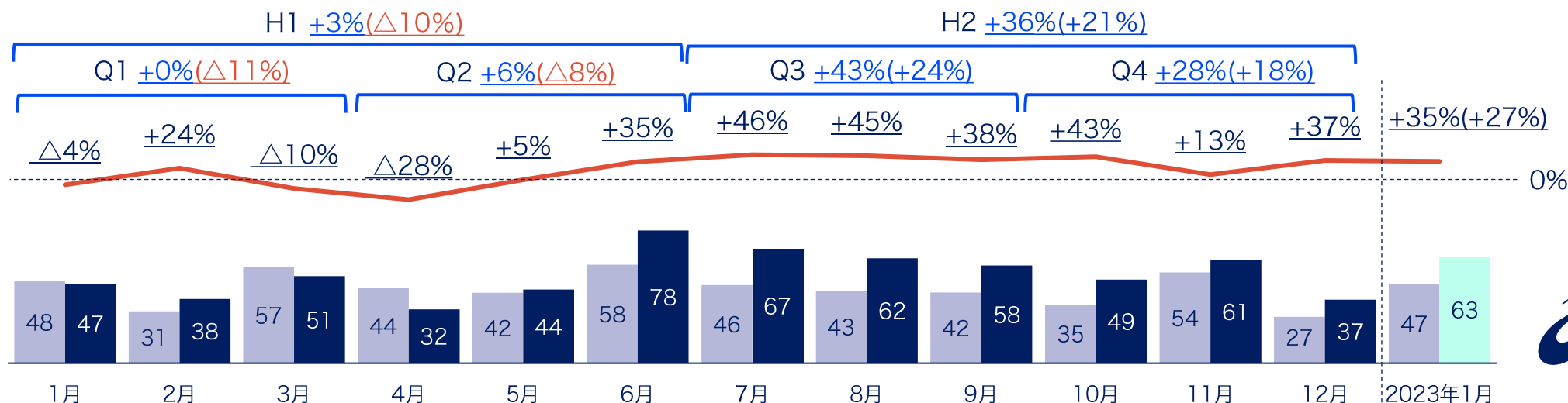
29

- ✓ 欧州：商品不足と物流の混乱により2月までは前年を下回るも、3月以降前期比プラスに転じ、第4四半期3ヶ月期間も+77%。現地通貨ベースでも+60%。2023年1月は、P.Run及びCPS中心にSS23商品の出荷が好調で大幅増収。
- ✓ 中華圏：直前四半期に続き第4四半期3ヶ月期間も+28%の増収(現地通貨ベース+18%)。2023年1月も旧正月の需要を取り込み順調なスタート。

欧州



中華圏



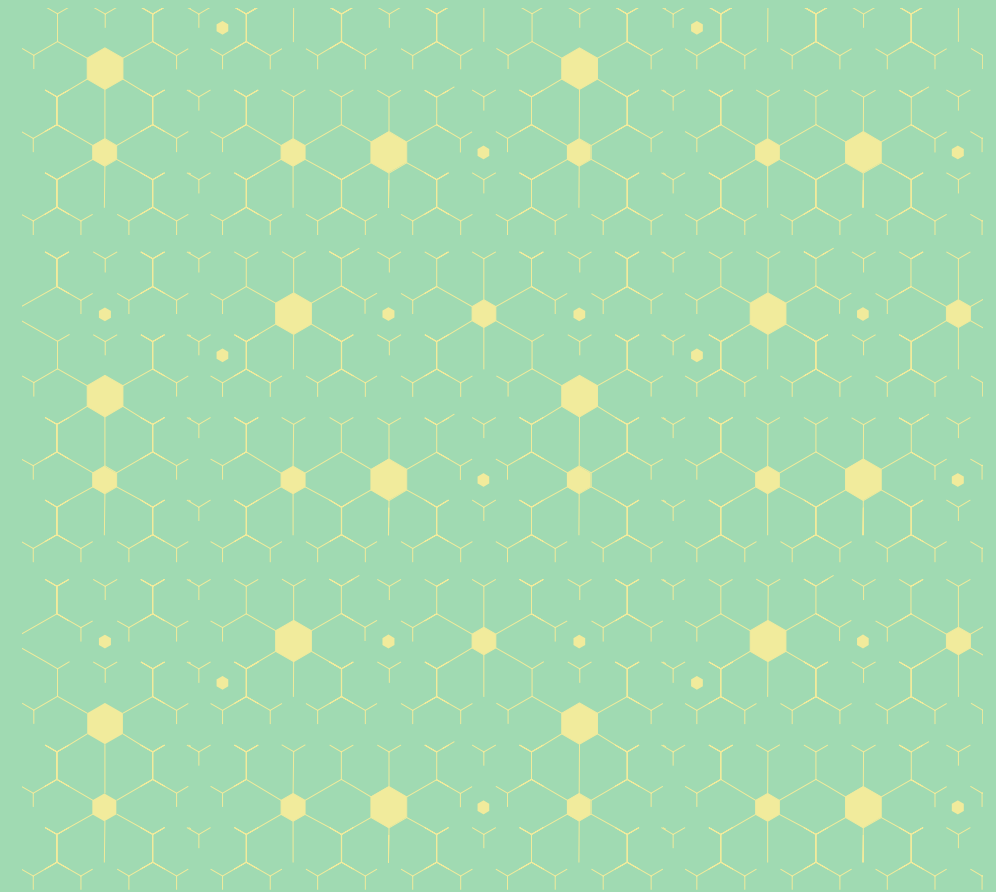
※ 2023年1月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。



4. 2022年12月期 連結財政状態

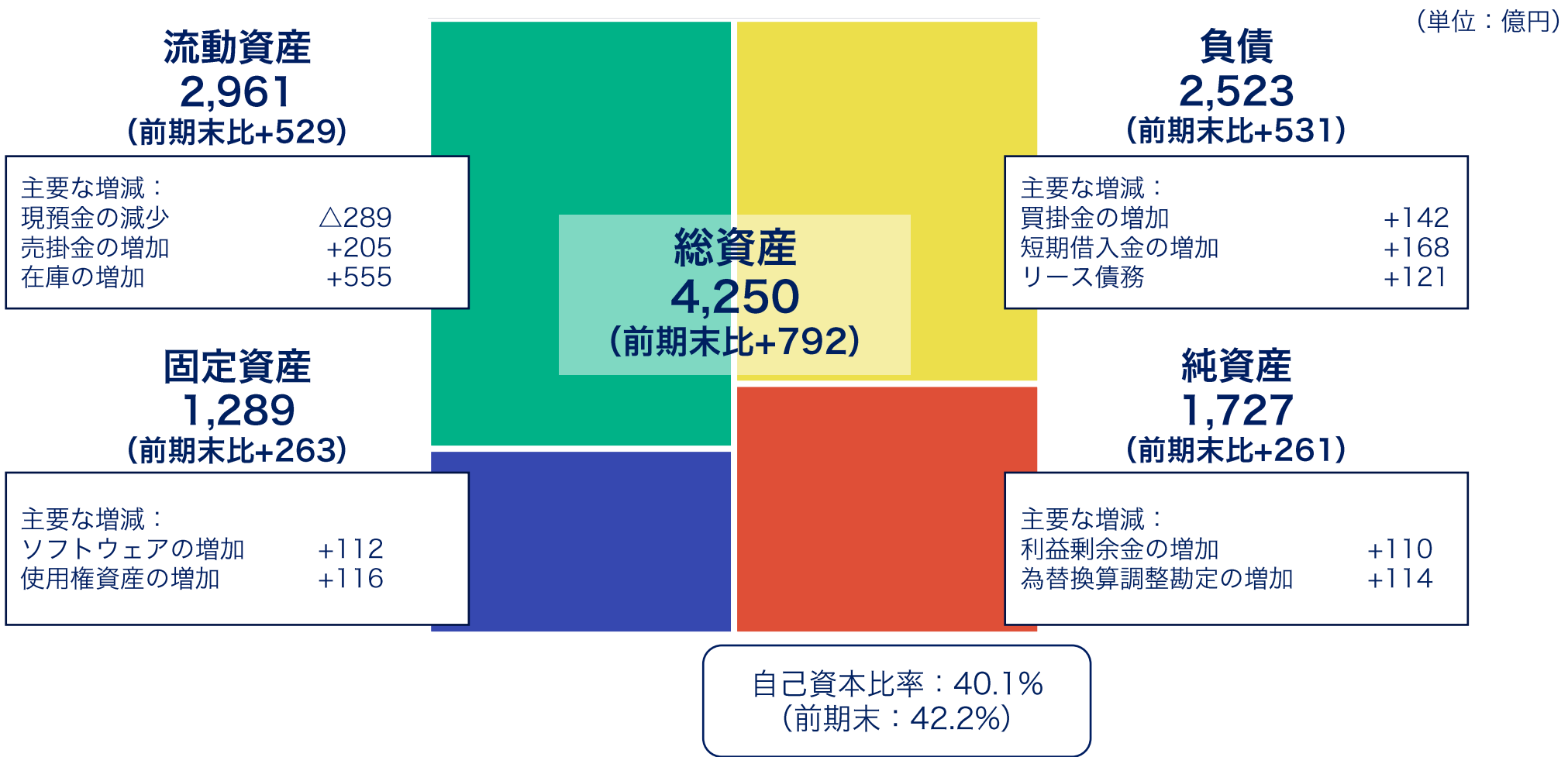
30

- ✓ 連結貸借対照表
- ✓ 連結CF（キャッシュフロー）
- ✓ ROAツリー分解



連結貸借対照表

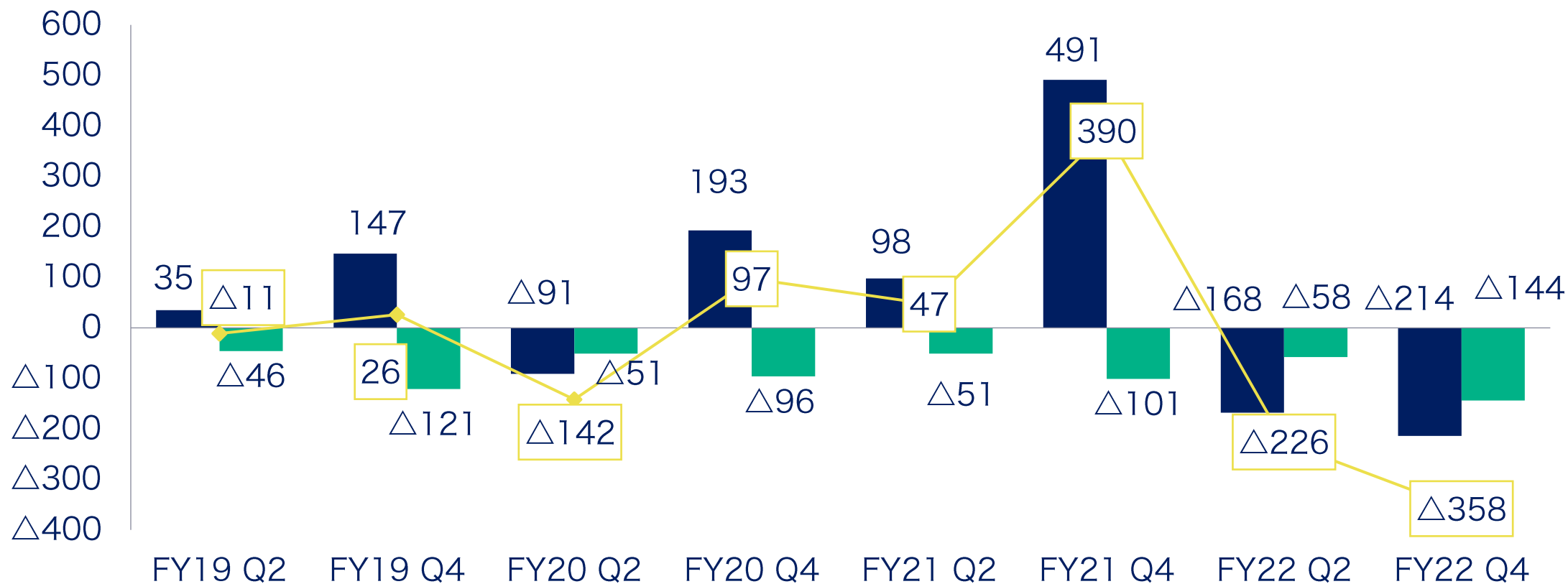
- ✓ 前年と比べ、売上が好調に推移し、売掛金は増加.
- ✓ 期末在庫(1,355億円)は、前期末在庫残高(800億円)が生産混乱の影響を受け通常より低水準だったことに加え、為替影響(+96億円)、会計方針の変更(+15億円)もあり増加. 但し、2023年1月の好調な売上により順調に在庫消化が進行中.



連結CF（キャッシュフロー）

- ✓ 営業キャッシュフローは、昨年比大幅な増収や好調な販売を見込んだ手元在庫の積み増しもありマイナス。
- ✓ 投資キャッシュフローは、アールビーズ、njukoの買収もあり、例年比支出増。
- ✓ なお、2023年は大幅な営業キャッシュフロー改善を見込む。

■営業キャッシュフロー ■投資キャッシュフロー ◆フリーキャッシュフロー （単位：億円）



ROAツリー分解

- ✓ 粗利率は、為替影響や物流費の高騰があったものの、チャネルミックスの良化等で前期比を上回る。
- ✓ 総資産は円安影響等を受け増加したものの、それを上回る期末純利益の増益により、ROAは5.2%と前期比良化。

<前期比>

FY21 Q4 : 4,040億円
FY22 Q4 : 4,846億円

FY21 Q4 : 2,042億円
FY22 Q4 : 2,438億円

FY21 Q4 : 584億円
FY22 Q4 : 672億円

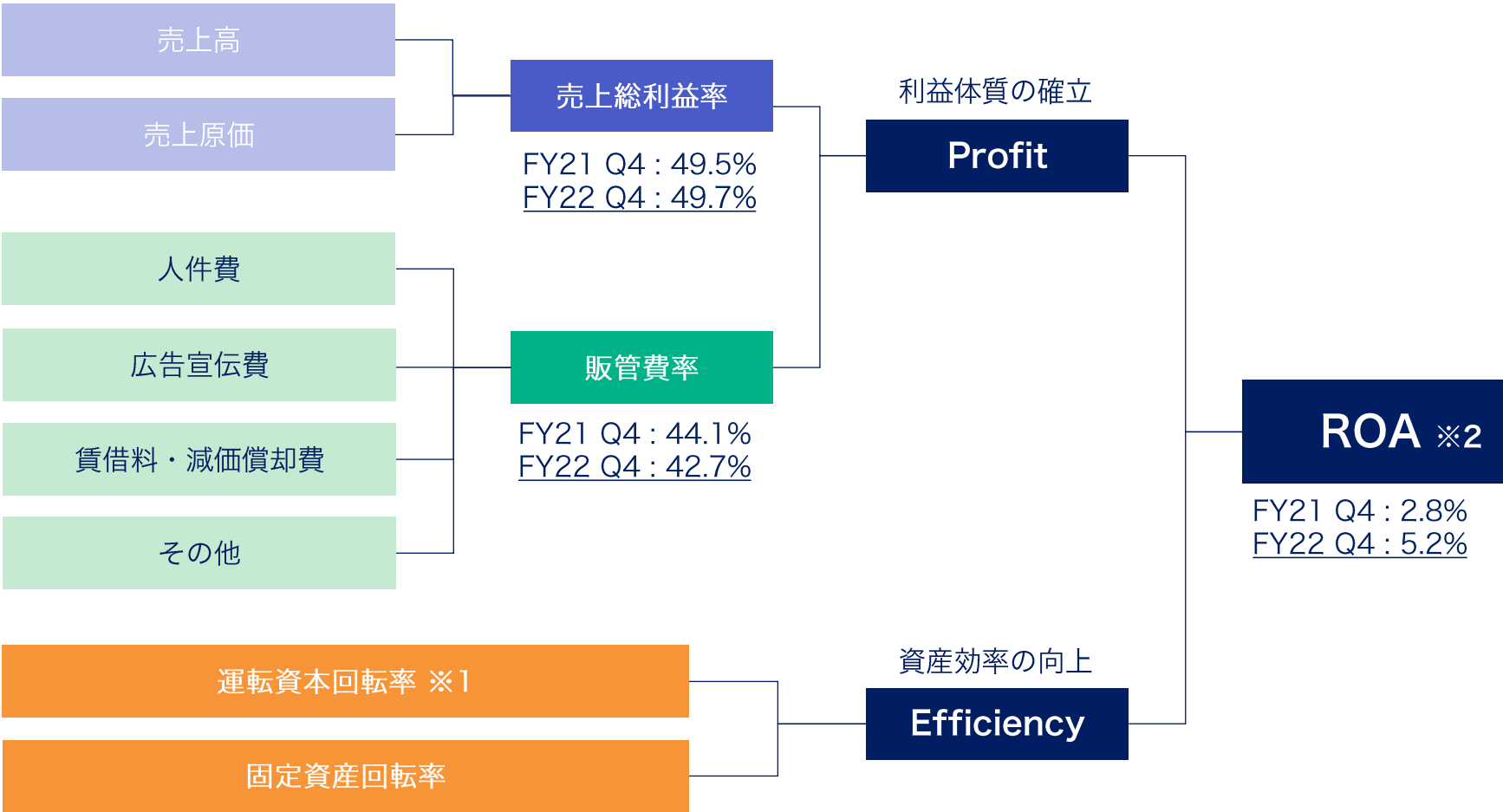
FY21 Q4 : 315億円
FY22 Q4 : 339億円

FY21 Q4 : 246億円
FY22 Q4 : 270億円

FY21 Q4 : 634億円
FY22 Q4 : 786億円

FY21 Q4 : 4.1回
FY22 Q4 : 3.0回

FY21 Q4 : 3.9回
FY22 Q4 : 3.8回



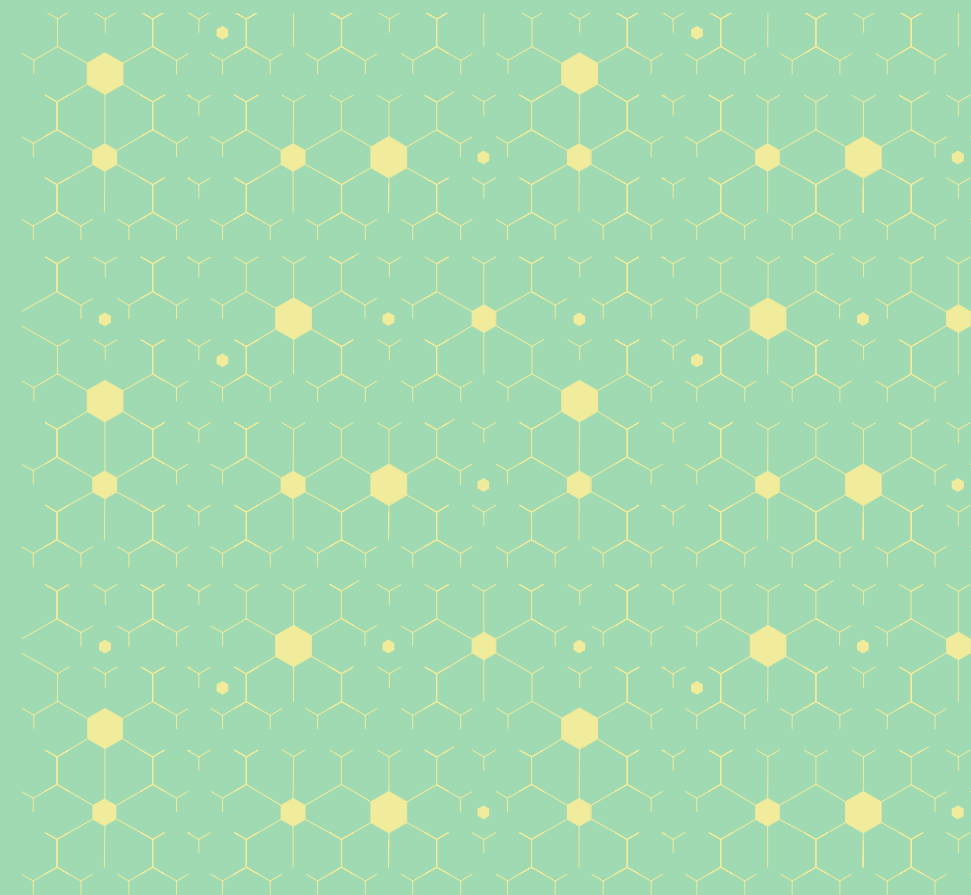
※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA = $\frac{2022\text{年}12\text{月期期末純利益}}{(2021\text{年}12\text{月期期末総資産} + 2022\text{年}12\text{月期期末総資産}) \div 2}$



5. 2023年12月期 連結業績予想

34



2023年12月期 連結業績予想 ※再掲

35

| (単位：億円) | 2022年 実績 | 2023年 予想 | 増減率 | 為替影響を除く 増減率 |
|---------------------|-------------|-------------|---------|----------------|
| 売上高 | 4,846 | 5,100 | +5.2% | +8.0% |
| 営業利益 | 340 | 370 | +8.8% | +11.4% |
| 営業利益率 | 7.0% | 7.3% | +0.3ppt | - |
| 経常利益 | 309 | 320 | +3.5% | +5.8% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 198 | 200 | +0.6% | +2.7% |

| 配当金 | 中間 | 期末 | 通期 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 2022年12月期 | 16.0円 | 24.0円 | 40.0円 |
| 2023年12月期 | 22.0円 | 22.0円 | 44.0円 |

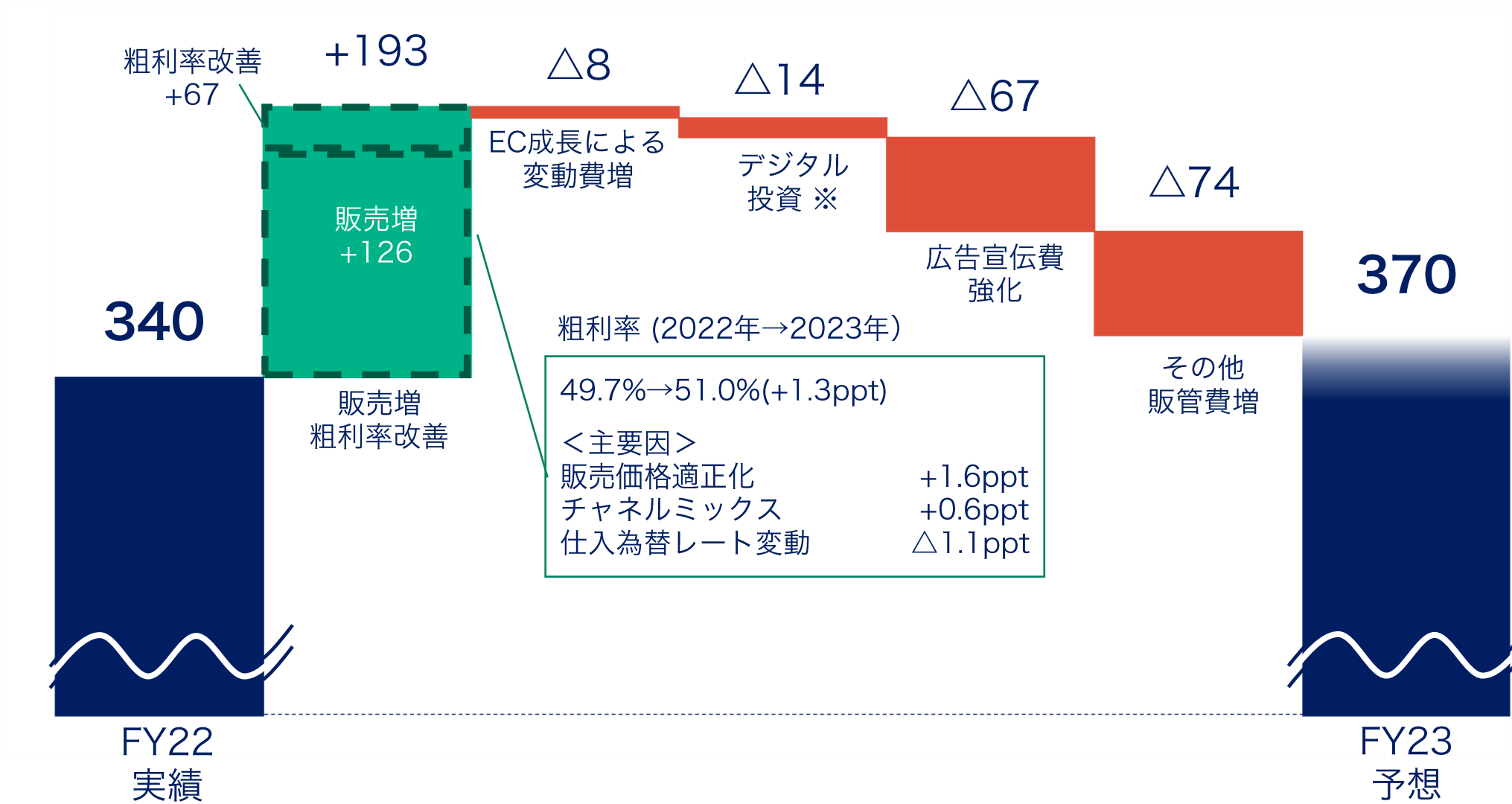
| 為替レート | USD | EUR | RMB |
|-----------|---------|---------|--------|
| 2022年12月期 | 130.54円 | 137.76円 | 19.38円 |
| 2023年12月期 | 125.00円 | 132.00円 | 19.00円 |

- ✓ 2023年12月期も、引き続き好調が見込まれるパフォーマンスランニングに加え、コアパフォーマンススポーツやスポーツスタイルでも成長を織込み、売上高、営業利益の最高値更新の見通し。
- ✓ 地域別では、中華圏、オセアニア、東南・南アジアを中心として伸長を見込む。
- ✓ 剰余金の配当については、年間44円とし、過去最高となる見通し。



2023年12月期 連結営業利益予想増減：要素別

(単位：億円)

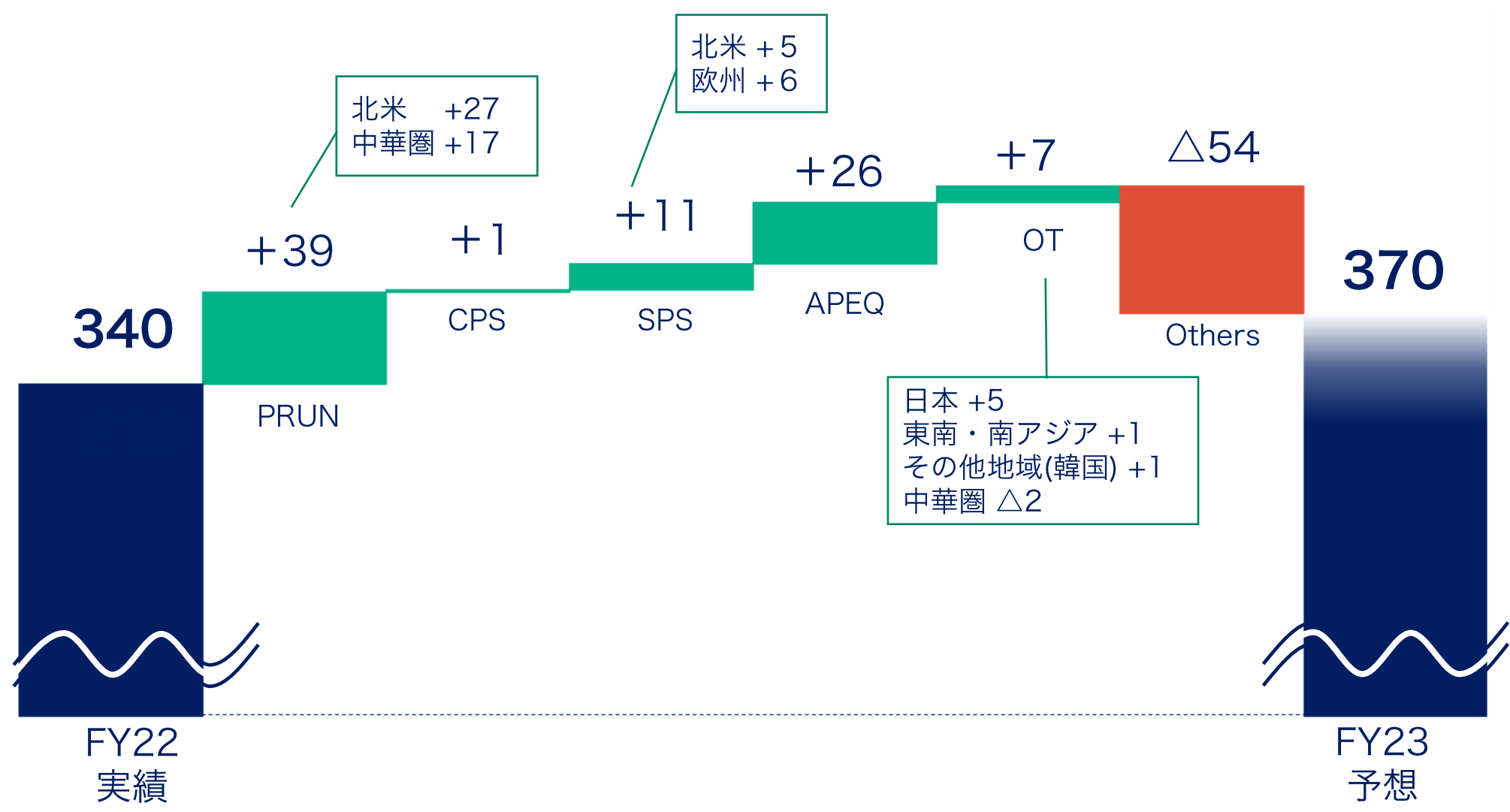


※ ASICS DIGITAL・Race Roster・アールビーズにおける人件費・経費増



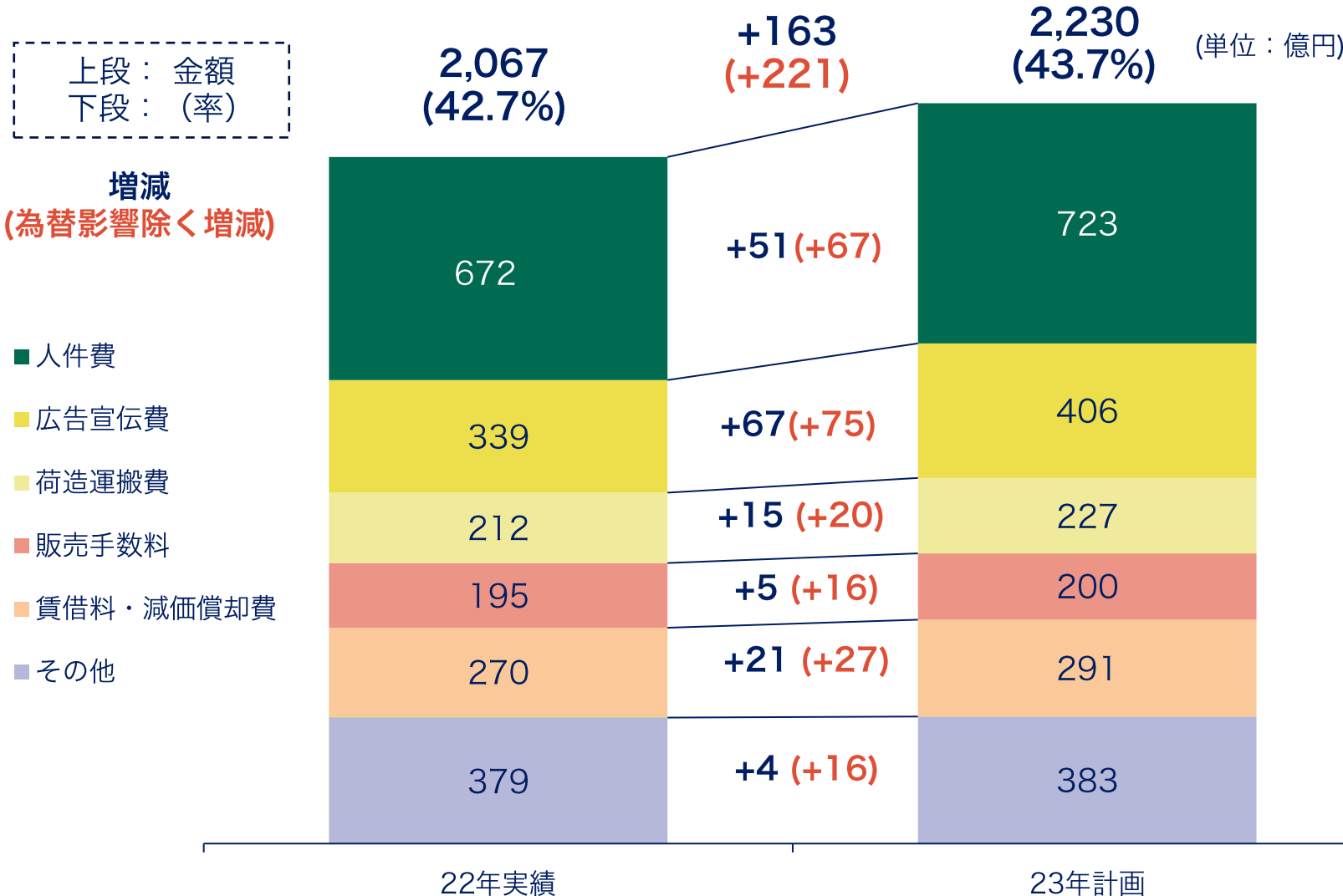
2023年12月期 連結営業利益予想増減：カテゴリー別

(単位：億円)



2023年12月期 販管費計画

- ✓ 2023年の販管費計画は、2022年比で163億円増の2,230億円。
- ✓ 主な増加要因は、各地域での物価高騰に対応した人件費増加や、パフォーマンスランニングを中心とした広告宣伝費の増加。



<参考：平均為替レート(円)>

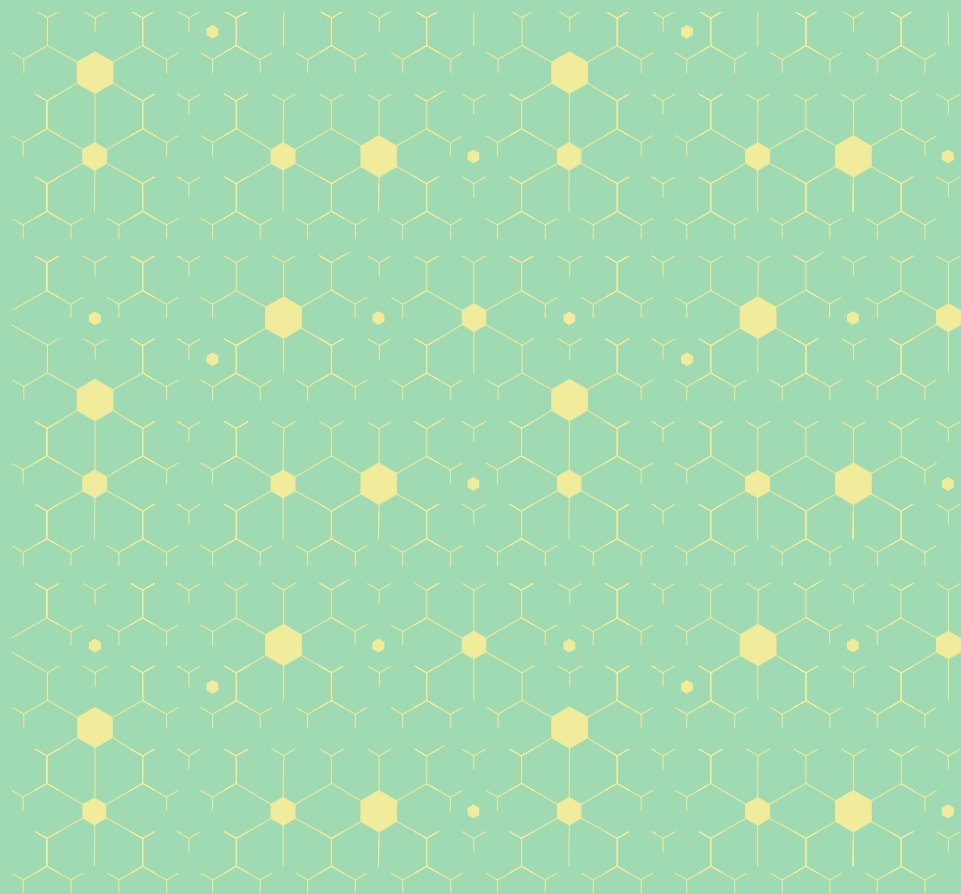
| 年間(1~12月) | FY22 実績 | FY23 計画 |
|-----------|------------|------------|
| 1ドル | 130.54 | 125.00 |
| 1ユーロ | 137.76 | 132.00 |
| 1人民元 | 19.38 | 19.00 |



6.その他

39

- ✓ サステナビリティにおける取組み
- ✓ IRカレンダー
- ✓ 地域別実績（12ヶ月・3ヶ月）
- ✓ 連結業績予想：カテゴリー別
- ✓ 連結業績予想：地域別



サステナビリティにおける取り組み

40

世界の人々の心身の健康とスポーツができる環境を守ることに貢献する

＜基本方針＞

①サプライチェーン上の人権を尊重する

②2030年CO₂削減目標
(事業所およびサプライチェーン)

BUSINESS AMBITION FOR 1.5°C   **OUR ONLY FUTURE**
63%削減 (2015年比)

| People (人と社会への貢献) | Planet (環境への配慮) | 開示・外部評価など |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">✓ 離れていても想いをつなぎ、チームで参加できるバーチャル駅伝レース「ASICS World Ekiden 2022」を開催。全世界から約2万2千人が参加。  <p>つなげよう、走る喜びを。</p> | <ul style="list-style-type: none">✓ 環境省の事業PasTI（ASEAN諸国の透明性向上を促進する事業）で、サプライチェーンで気候変動に取り組む日本企業の代表例としてアシックスが選出され、COP27の日本パビリオンの動画で紹介された。✓ Onitsuka Tigerで、サボテン由来の素材を初めて採用した「MEXICO 66™ CACTFUL™」を発表。   | <ul style="list-style-type: none">✓ ESG投資指標「Dow Jones Sustainability Asia/Pacific Index」の対象銘柄に8年連続選出。グローバルの対象企業において業界上位5%の評価(パーセンタイル95)を獲得。✓ ESG投資指標「FTSE4Good Index Series / FTSE Blossom Japan Index」「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ」の対象銘柄に選出✓ 環境戦略等の情報開示・評価をするNGO「CDP」の気候変動調査において、B評価からA-評価へ格上げ。   |

| 主な予定 | | | |
|----------------------|---------|----------------|--|
| 2023年12月期 第1四半期決算 | 5月10日 | 15:00 15:30 | 決算発表 ライブ配信 機関投資家、アナリスト、報道機関向け |
| インベストメントデイ | 6月頃 | 未定 | テーマ：インド・アジアにおける成長戦略（予定） |
| 2023年12月期 第2四半期決算 | 8月8日 | 15:00 15:30 | 決算発表 決算説明会 報道機関向け |
| | 8月9日 | 15:00 | 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け |
| 2023年12月期 第3四半期決算 | 11月10日 | 15:00 15:30 | 決算発表 ライブ配信 機関投資家、アナリスト、報道機関向け |
| インベストメントデイ | 11月頃 | 未定 | テーマ：未定 |
| 2023年12月期決算 | 2024年2月 | 未定 | 決算発表 決算説明会 報道機関向け 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け |



<2022年12月期 地域別実績（年間）>

(単位：億円)

42

| 日本 | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 1,099 | 1,234 | +135 | +12.3% |
| 為替影響除く増減 | | 1,234 | +135 | +12.3% |
| 営業利益 | 11 | 60 | +49 | +406.6% |
| 営業利益率 | 1.1% | 4.9% | - | +3.8ppt |

| 北米 | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 861 | 1,053 | +192 | +22.2% |
| 為替影響除く増減 | | 887 | +26 | +3.1% |
| 営業利益 | 8 | 0 | △8 | △96.9% |
| 営業利益率 | 1.0% | 0.0% | - | △1.0ppt |

| 欧州 | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 1,066 | 1,300 | +234 | +22.0% |
| 為替影響除く増減 | | 1,225 | +159 | +15.0% |
| 営業利益 | 108 | 112 | +4 | +3.4% |
| 営業利益率 | 10.2% | 8.7% | - | △1.5ppt |

| 中華圏 | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 525 | 624 | +99 | +18.7% |
| 為替影響除く増減 | | 547 | +22 | +4.2% |
| 営業利益 | 91 | 100 | +9 | +10.1% |
| 営業利益率 | 17.4% | 16.1% | - | △1.3ppt |

| オセアニア | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 247 | 332 | +85 | +34.5% |
| 為替影響除く増減 | | 302 | +55 | +22.4% |
| 営業利益 | 33 | 52 | +19 | +55.7% |
| 営業利益率 | 13.5% | 15.7% | - | +2.2ppt |

| 東南・南アジア | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 109 | 184 | +75 | +69.2% |
| 為替影響除く増減 | | 163 | +54 | +49.9% |
| 営業利益 | 9 | 29 | +20 | +209.5% |
| 営業利益率 | 8.8% | 16.2% | - | +7.4ppt |

| その他地域 | FY21 (1-12月) | FY22 (1-12月) | 前年同期比 | |
|----------|-----------------|-----------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 351 | 436 | +85 | +24.2% |
| 為替影響除く増減 | | 391 | +40 | +11.4% |
| 営業利益 | 17 | 36 | +19 | +102.9% |
| 営業利益率 | 5.1% | 8.4% | - | +3.3ppt |



<2022年12月期 地域別実績（3ヶ月）>

(単位：億円)

43

| 日本 | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 236 | 343 | +107 | +45.4% |
| 為替影響除く増減 | | 343 | +107 | +45.4% |
| 営業利益 | △33 | 17 | +50 | - |
| 営業利益率 | △13.6% | 5.1% | - | +18.7ppt |

| 北米 | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 199 | 297 | +98 | +49.1% |
| 為替影響除く増減 | | 244 | +45 | +23.2% |
| 営業利益 | △19 | △ 14 | +5 | - |
| 営業利益率 | △9.5% | △ 4.7% | - | +4.8ppt |

| 欧州 | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|----------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 157 | 276 | +119 | +76.6% |
| 為替影響除く増減 | | 250 | +93 | +59.4% |
| 営業利益 | △37 | △ 13 | +24 | - |
| 営業利益率 | △23.6% | △ 4.7% | - | +18.9ppt |

| 中華圏 | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 115 | 148 | +33 | +27.8% |
| 為替影響除く増減 | | 134 | +19 | +16.1% |
| 営業利益 | △0 | △ 6 | △6 | - |
| 営業利益率 | △0.3% | △ 4.1% | - | △3.8ppt |

| オセアニア | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 55 | 84 | +29 | +53.0% |
| 為替影響除く増減 | | 76 | +21 | +38.5% |
| 営業利益 | 4 | 11 | +7 | +139.8% |
| 営業利益率 | 7.6% | 12.0% | - | +4.4ppt |

| 東南・南アジア | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 32 | 46 | +14 | +44.5% |
| 為替影響除く増減 | | 40 | +8 | +26.1% |
| 営業利益 | 2 | 2 | +0 | +9.6% |
| 営業利益率 | 7.5% | 5.7% | - | △1.8ppt |

| その他地域 | FY21 (10-12月) | FY22 (10-12月) | 前年同期比 | |
|----------|------------------|------------------|-------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 89 | 102 | +13 | +14.6% |
| 為替影響除く増減 | | 90 | +1 | +1.3% |
| 営業利益 | △1 | 6 | +7 | - |
| 営業利益率 | △0.5% | 6.3% | - | +6.8ppt |



2023年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

| (単位：億円) | | 2022年 実績 | 2023年 予想 | 増減率 | 為替影響を除く 増減率 |
|---------|---------|-------------|-------------|------|----------------|
| P.Run | 売上高 | 2,582 | 2,730 | +6% | +9% |
| | カテゴリー利益 | 491 | 530 | +8% | +10% |
| CPS | 売上高 | 541 | 610 | +13% | +15% |
| | カテゴリー利益 | 94 | 95 | +0% | +2% |
| SPS | 売上高 | 434 | 480 | +10% | +14% |
| | カテゴリー利益 | 64 | 75 | +17% | +20% |
| APEQ | 売上高 | 352 | 350 | △1% | +1% |
| | カテゴリー利益 | △16 | 10 | - | - |
| OT | 売上高 | 430 | 470 | +9% | +11% |
| | カテゴリー利益 | 73 | 80 | +8% | +10% |



2023年12月期 連結業績予想：地域別

| (単位：億円) | | 2022年 実績 | 2023年 予想 | 増減率 | 現地通貨ベースの 増減 |
|---------------|------|-------------|-------------|---------|----------------|
| 日本 地域 | 売上高 | 1,234 | 1,190 | △4% | - |
| | 営業利益 | 60 | 55 | △9% | - |
| 北米 地域 | 売上高 | 1,053 | 1,080 | +3% | +7% |
| | 営業利益 | 0 | 20 | +7,399% | +7,490% |
| 欧州 地域 | 売上高 | 1,300 | 1,330 | +2% | +6% |
| | 営業利益 | 112 | 120 | +7% | +11% |
| 中華圏 地域 | 売上高 | 624 | 680 | +9% | +11% |
| | 営業利益 | 100 | 110 | +9% | +12% |
| オセアニア 地域 | 売上高 | 332 | 385 | +16% | +16% |
| | 営業利益 | 52 | 60 | +15% | +16% |
| 東南・南アジア 地域 | 売上高 | 184 | 230 | +25% | +27% |
| | 営業利益 | 29 | 35 | +17% | +20% |



